

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

<27週> ヘルパンギーナ 報告数が急増しており、千葉県、群馬県、宮城県、埼玉県、新潟県で多い / その他最新動向  
<6月> 性感染症・薬剤耐性菌について



注目すべき感染症  
P.5

<手足口病> 第27週の報告患者総数は16,742で、定点当たり報告数は5.6  
<腸管出血性大腸菌感染症> 第27週の報告患者総数は130で、うち有症者は82



病原体情報  
P.6

患者から分離・検出された病原体報告 Veroto毒素産生性大腸菌 / 無菌性随膜炎 / 手足口病 / 咽頭結膜熱 / 流行性角結膜炎



IASRからの速報  
P.7-8

手足口病患者からのコクサッキーウイルスA16型の分離 山形県 / 老人保健施設におけるA群ロタウイルス胃腸炎の集団発生 山梨県 / 他



海外感染症情報  
P.9

スウェーデンで発症したヒトの狂犬病症例 / 他



感染症の話  
P.10-13

マラリア  
世界で犠牲者の数は年間200万人以上に達し、国内では国際化に伴う海外からの輸入事例が増加している



読者のコーナー  
P.14



グラフ総覧(27週)  
P.15-21



グラフ総覧(6月)  
P.22-26



6月のデータ  
P.27-29



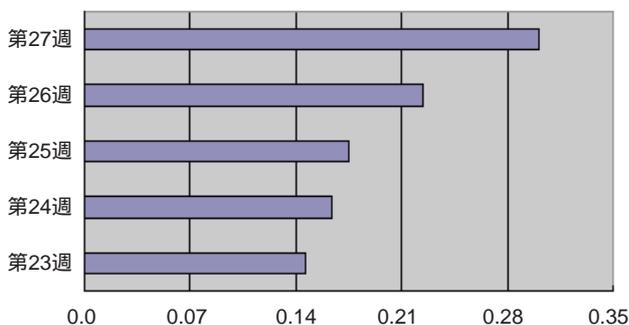
27週のデータ  
P.30-37



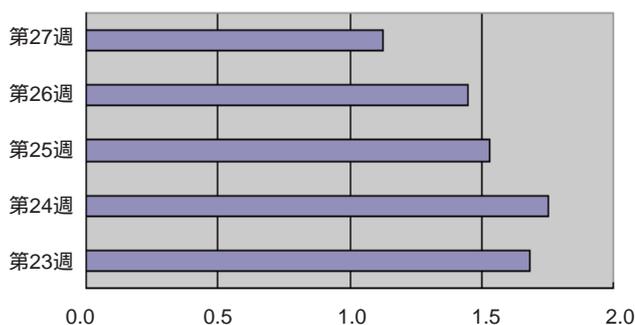
## 最近の注目疾患-5週間の動き

咽頭結膜熱は5週続けて前週より定点当たり報告数が多くなっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数はここ3週間減少傾向にある。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はここ3週間やや増加傾向にある。水痘の定点当たり報告数は先週に比べて減少した。ヘルパンギーナは著明な増加傾向を示しているが、例年7月下旬にピークを迎える。

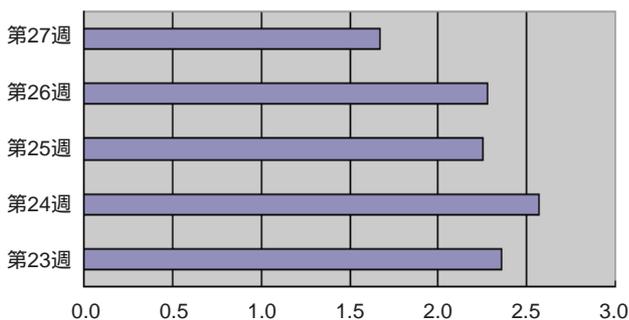
咽頭結膜熱



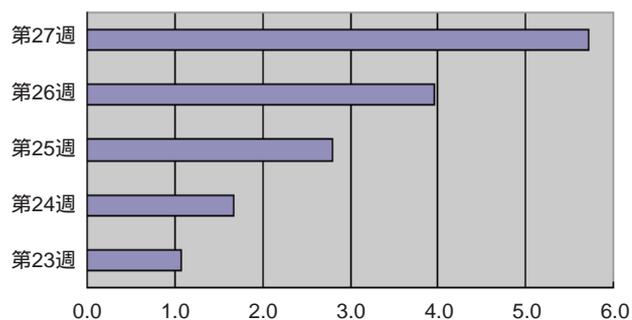
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



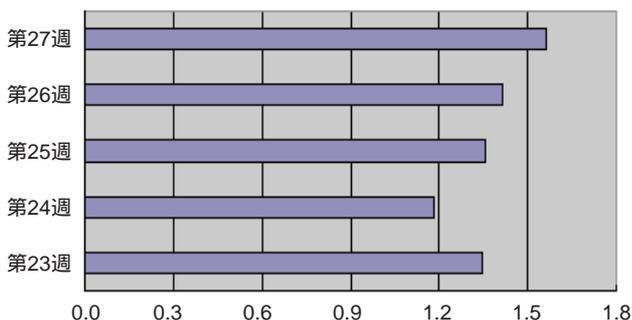
水痘



ヘルパンギーナ



流行性角結膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

## 6月コメント 7月10日集計分

【注】 )内の+、-は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少を表す。

### 性感染症について

6月のSTD定点総数: 894 .

6月の定点当たり報告数: 性器クラミジア感染症 3.5(+)(男1.6、女1.9)  
 性器ヘルペスウイルス感染症 0.87(+)(男0.38、女0.49)  
 尖形コンジローム 0.48(+)(男0.26、女0.22)  
 淋菌感染症 1.6(+)(男1.3、女0.3)

年齢階級別: 20-24歳で最も多い・・・性器クラミジア感染症(総数、男性、女性)  
 性器ヘルペスウイルス感染症(女性)  
 尖形コンジローム(総数、男性、女性)  
 淋菌感染症(総数、男性、女性)

25-29歳で最も多い・・・性器ヘルペスウイルス感染症(総数)

30-34歳で最も多い・・・性器ヘルペスウイルス感染症(男性)

### 薬剤耐性菌について

6月の基幹定点総数: 441 .

6月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.0(-)  
 ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 0.77(-)  
 薬剤耐性緑膿菌感染症 0.11(+)

年齢階級別: MRSA感染症・・・・・・・・・・ 報告数の53%は70歳以上の高齢者であり、0歳と65-69歳にも多い。

PRSP感染症・・・・・・・・・・ 1-4歳が最も多く、全体の38.8%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症・・・高齢者に多く見られ、全体の43.8%が70歳以上であった。



# 注目すべき感染症

## 手足口病流行状況

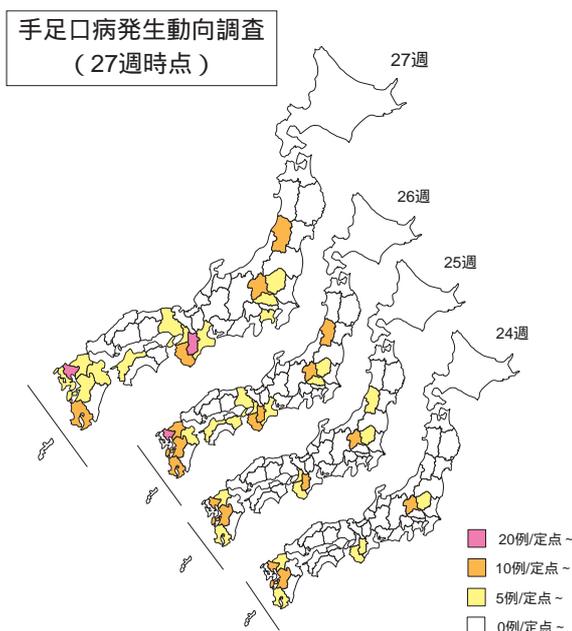
今シーズンは第13週ごろより流行曲線が立ち上がり始め、第20、21週と患者報告数が急増した。流行の大きかった'90年、'95年の流行曲線も第19週頃より急速に立ち上がっており、今年の流行曲線も現在のところこれらの流行年に見られたパターンに近く、今後疾患の動向に注意が必要である。

第27週(7月3日～7月9日)の、全国定点医療機関からの手足口病報告患者総数は16,742で、定点当たり報告数は5.6であった。定点当たり報告数が多いのは、以下の地図グラフで示すとおり、奈良県(20.9)、佐賀県(20.7)、和歌山県(19.9)、群馬県(17.8)、山形県(12.9)、鹿児島県(11.5)などである。

患者の年齢階級別では、2歳以下の乳幼児が4割、5歳までで全体の約9割を占めている。2歳児の報告が最も多い。

手足口病は小児科定点から報告される定点把握の疾患であるが、実際はこれらの定点医療機関を受診した成人例も報告されており、20歳以上の患者が全体の1%程度見られる。

病原体検出情報事務局に入った情報によると、2000年7月14日までに、手足口病患者からエンテロウイルス71型(EV71)が16件、コクサッキーウイルスA16型(CA16)は24件の分離報告があった(6ページ病原体情報参照)。



## 腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第27週(7月3日～7月9日)の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数(無症状病原体保有者含む)は130で、うち有症者数は82であった。2000年第1週からの累積患者報告数は970となり、東京都、大阪府、福岡県、神奈川県、愛知県、兵庫県など大都市を含む都府県で累積報告数が多い(Vero毒素産生性大腸菌O157、O26の検出状況については、6ページ病原体情報参照)。



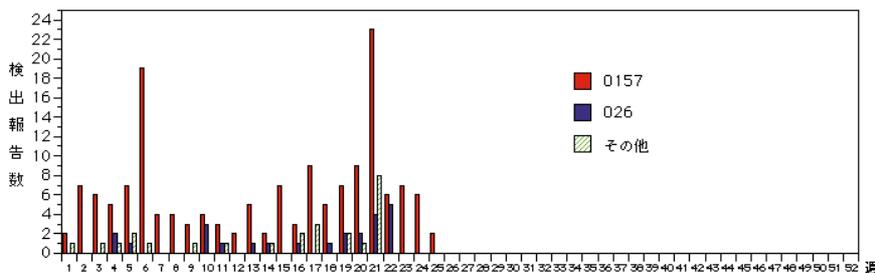
# 病原体情報

## ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26

2000年(2000年7月14日現在報告分)

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が162件、O26が25件であり、5月以降ではO157が札幌市、山形県、岩手県、福島県、千葉県、千葉市、横須賀市、岐阜県、石川県、富山県、大阪府、滋賀県、和歌山県、広島市、島根県、佐賀県、大分県、宮崎県から、O26が北海道、札幌市、岩手県、岐阜県、富山県、大阪府、滋賀県、島根県、福岡市から分離が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2000年 (病原微生物検出情報: 2000年7月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を週に示した。



## 無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年7月14日現在報告分)

エコーウイルス3型が神戸市1件(第25週)、4型が福岡市1件(第16週)、6型が福井県(第1週)と京都市(第4週)各1件、神戸市2件(第23,26週)、9型が奈良県6件(第15～17,20週)、11型が奈良県(第3週)と高知県(第20週)各1件、25型が山形県2件(第23週)、コクサッキーウイルスB1型が愛媛県2件(第23,24週)、B4型が北九州市1件(第8週)、B5型は島根県(第14週)と香川県(第15週)各1件、エンテロウイルス71型が熊本県(第14週)と大阪市(第21週)各1件、ムンプスウイルスは東京都5件(第12,17,18,23週)、広島県3件(第8,9,13週)と広島市1件(第14週)、名古屋市1件(第13週)、大阪市1件(第20週)、香川県1件(第21週)の分離報告があった。

## 手足口病患者から分離されたウイルス

2000年(2000年7月14日現在報告分)

コクサッキーウイルスA16型が大阪市1件(第10週)、山形県14件(第16週1件、19～21週8件、24週5件)、奈良県2件(第18,20週)、栃木県7件(第21週)、コクサッキーウイルスA6型は栃木県1件(第21週)、コクサッキーウイルスA9型は新潟県1件(第15週)、エンテロウイルス71型が神奈川県2件(第4,6週)、大阪府2件(第6,9週)、熊本県1件(第13週)、福岡市3件(第14,17,20週)、兵庫県1件(第19週)、大阪市1件(第20週)、山形県2件(第23週)、北九州市3件(第18,21,24週)、浜松市1件(第26週)の分離報告があった。

## 咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

2000年(2000年7月14日現在報告分)

アデノウイルス1型が川崎市と長野県各1件(第8週)、新潟県2件(第14,21週)、大阪府(第20週)、北九州市(第24週)各1件、2型は長野県(第2週)、東京都(第19週)、大阪府(第20週)、兵庫県(第21週)、高知県(第21週)各1件、広島市(第8,19週)と北九州市(第20,23週)各2件、3型は大阪府(第3週)、石川県(第23週)、兵庫県(第26週)各1件、広島市(第16,19,21週)と愛媛県(第23週)各3件、4型は新潟県2件(第5,23週)、5型は広島市1件(第19週)、6型は島根県1件(第16週)、コクサッキーウイルスB5型は島根県2件(第21週)の分離報告があった。

## 流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年7月14日現在報告分)

アデノウイルス2型が川崎市1件(第16週)、3型が香川県1件(第14週)、4型が岡山県2件(第2,5週)、7型が岡山県1件(第9週)、8型が札幌市1件(第18週)、19型が神奈川県(第2週)と川崎市(第5週)各1件、37型が岡山県1件(第5週)の分離報告があった。

## 手足口病患者からのコクサッキーウイルスA16型の分離、 2000年 - 山形県

感染症週報によれば、手足口病の流行は、熊本県(エンテロウイルス71型を分離)など一部の地域を除けば全国的にはまだ少ない。山形県東村山郡山辺町において、4月25日～5月16日までの手足口病の地域流行からコクサッキーウイルスA16型(CA16)を分離したので報告する。

山形県では、2000年第16週までの手足口病の患者報告数は13件であったが、第17週に山辺町の1小児科定点から8名の患者報告があった。

同定点から5月9日～16日に10件の咽頭ぬぐい液が搬入され、ウイルス分離を行った。ウイルス分離には、HEF、HEp-2、Vero、MDCK、GMKの5細胞を用いた。10件中7件でHEF、Vero、GMK細胞に細胞変性効果が認められ、CA16と同定された。

同定点では、4月25日～6月6日まで、0歳1名、1歳11名、2歳6名、3歳11名、4歳10名、5歳以上9名、合計48名の手足口病患者が確認された。山辺町の保健福祉課には、同時期に1保育所(30名)、1幼稚園(17名)、小学生(4名)、中学生(2名)の患者発生が報告されている。その中に、兄弟感染が5組あり、家族内感染が疑われた。臨床症状は、発熱がなく、口腔内疼痛も弱く、皮疹主体の軽症者が多かった。

山辺町の流行とはほぼ同時期に、散发例として、近隣の市町村からも2例のCA16が分離された。その後、第22週に入り、県内の他地域における保育園、幼稚園での集団発生があり、患者数が急増している。

山形県衛生研究所 後藤裕子 村田敏夫 水田克巳 村山尚子 早坂晃一  
山辺こどもクリニック 板垣 勉

(IASR7月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.7, 2000 P.8)

## 老人保健施設におけるA群ロタウイルス胃腸炎の集団発生 - 山梨県

2000年3月中旬～4月上旬にかけて、A老人保健施設で発熱、下痢、嘔吐を主症状とする胃腸炎患者が14名発生した。この施設は2階建てで、当時の平均入所者数は93名であった。初発患者は1階の入所者で3月13日に発症し、病院での免疫クロマトグラフィー法による検査でロタウイルスが確認され、A群ロタウイルスによる胃腸炎と診断された。以後3月17日～4月8日にかけて13名の患者が散発的に発生した。1階の患者数は13名で、15室のうち西側の7室に集中していた。2階の患者は1名のみであった。

初発患者以外の13名の糞便について検査を行った。ラテックス凝集法(ロタ-アデノドライ)でA群ロタウイルスが13検体中6検体から検出された。また、Gouveaらの方法によるRT-PCR法でロタウイルス遺伝子の検出と血清型別を行ったところ、ラテックス凝集法で陽性の6検体はRT-PCR法

でもすべてロタウイルス遺伝子が検出された。また、ラテックス凝集法で陰性の検体のうち1検体からロタウイルス遺伝子が検出された。これらの血清型はいずれもG血清型の2型であった。

ロタウイルスが確認された患者8名(初発患者を含む)の症状は、発熱(37.1～38.6)および下痢が全員にみられ、さらに嘔吐がみられた者6名、腹痛がみられた者が1名であった。脱水症を認めた4例は輸液を行い、症状は2～4日で回復した。

ロタウイルスは冬季の乳幼児における急性下痢症の主要原因ウイルスとして知られているが、老人のロタウイルス感染という報告は少ない。G血清型2型は過去約10年間散発的に数例が検出されていたものの、大きな流行はなかった。そのため2型に対する免疫が低くなっていて、全般的に免疫能が落ちている老人に2型による胃腸炎が発生したと考えられるかもしれない。ロタウイルスは経口、あるいは飛沫感染で伝播するといわれているが、今回の事例では施設へのウイルスの侵入経路や施設内での伝播様式については不明であった。今回の事例より老人のロタウイルス感染についても注意が必要であると思われる。

山梨県衛生公害研究所 浅川洋美 町田篤彦 小澤 茂  
山梨県立中央病院 横山 宏 山上隆也

(IASR7月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.7, 2000 P.9)

## 身体障害者施設内で発生したA群ロタウイルス感染症 - 神戸市

2000年4月13日～20日にかけて、神戸市内にある身体障害者施設において、嘔吐・下痢を主訴とする胃腸炎が発生した。当該施設には、95名(男性56名、女性39名)が入居しており、この間に24名が嘔吐・下痢といった異常を訴えた。便を回収できた21検体をロタクロン(TFB)で検査したところ、14検体からロタウイルスを検出、残る7検体からはロタウイルスは検出されなかった。すべての検体において、小型球形ウイルス、アデノウイルス、下痢原性細菌は検出されなかった。

ロタウイルス陽性の4検体について、ロタ-MA(セロテック)とロタクロンによるサンドイッチ法で血清型を調査したところ、いずれもA群血清型2であった。また、A群血清型2に特異的にみられる第11分節dsRNAのPAGE上でのショートパターンを確認した。

当該施設の入居者の障害は、身体障害、視覚障害、聴覚障害、知的障害などさまざまである。感染者に共通した(特異的な)障害は見つからなかった。A群ロタウイルスは、小児の間で流行することが多いが、今回は比較的高齢者の間で起こった。

今回の施設内でのロタウイルスの発生は、何らかのルートで当該施設内に持ち込まれたロタウイルスが、吐瀉物を介して施設内で広がっていったものと考えられる。なお、最初の患者の発生原因が、施設内での喫食に起因するか否かを明らかにするには至らなかった。また、今回の感染が身体障害者施設という特殊な環境に起因するものか否かは今後の検討課題である。

神戸市環境保健研究所 大石英明 奴久妻聡一 飯島義雄

(IASR7月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.7, 2000 P.9)



## 海外感染症情報

### アフガニスタンの急性出血熱 - 続報

WHO/CSR 2000年7月12日

現在、アフガニスタンのHerat州 Gulran地区の隔離された村で、16人の死亡例を含む27例の感染疑い例が報告されている。南アフリカの国立ウイルス研究所、Epicentre、WHOの専門家からなる国際チームが調査を完了した。多くの病因に関する広範囲なウイルス学的検査、血清学的検査が行われているが、病因決定には至っていない。

### スウェーデンで発症したヒトの狂犬病症例

Eurosurveillance Weekly 2000年7月13日

狂犬病の症例が最近スウェーデンで診断された。患者は19歳の少女で、2000年3月にタイで家族と過ごした時に、飼い犬の子犬一匹が咬傷を負った。家族(主に患者)が子犬の世話をしたが、犬は2週間もせずに死んだ。患者は犬の傷に触れていたが、実際に犬に噛まれたかどうかは不明である。

スウェーデンに戻った後の6月中旬に、患者が尿路感染症で病院を受診した時、右腕から経静脈的尿路造影が実施された。その3日後の6月20日に、彼女は右手の感覚異常で病院を受診した。その翌日、右腕のより激しい感覚異常により、興奮状態が増強し、恐水症状が出現した。6月22日に、彼女は循環不全に陥り、人工呼吸器による管理がなされたが、発症後19日目に死亡した。

狂犬病ウイルスは発症後9日目の唾液からネズミの神経芽細胞腫細胞培養で分離され、次の日に免疫蛍光抗体法によって確認された。6日目の毛嚢から得られた細胞スミアの免疫蛍光抗体法による検査は陽性だったが、角膜のスタンプ標本検査(9日目)では陰性だった。Rapid fluorescent focus inhibition test法による検査で、6日、9日および13日目の血清に狂犬病ウイルス抗体は検出できなかった。

スウェーデンは、狂犬病がない国である。スウェーデンで過去50年間において、1974年にインドで犬に噛まれたカメラマンが狂犬病と診断されたのが人間での唯一の症例である。

狂犬病が疑われるとすぐに、家族に狂犬病のワクチン接種がなされた。人から人への狂犬病の伝播は報告されていないが、議論の末、少女と直接接触していた病院スタッフに対しても狂犬病のワクチン接種がなされた。



# 感染症の話

## マラリア

マラリアは、4種のマラリア原虫( *Plasmodium* spp. )の感染により、特有の熱発作とそれに続発する貧血、脾腫のほか、多彩な病態を呈する原虫性疾患であり、感染症法においては4類感染症に分類されている。

### 病原体と疫学

熱帯熱マラリア原虫( *Plasmodium falciparum* )、三日熱マラリア原虫( *Plasmodium vivax* )、四日熱マラリア原虫( *Plasmodium malariae* )、卵形マラリア原虫( *Plasmodium ovale* )が病因となり、いずれも夜間吸血性の雌ハマダラカに媒介され固有のマラリアを起こすが、この中で熱帯熱マラリア原虫が最も悪性である。

人類はマラリアには有史以前から悩まされ、その疾病史に数々の惨禍を記録してきただけでなく今なお地球上の人口の40%以上が居住する熱帯、亜熱帯各地に猖獗を極めており、年間3億人以上が罹患し、その犠牲者は200万人以上に達すると推定されている。特にサハラ以南の熱帯アフリカで甚大な被害が出ている。また、わが国では国際化が進み、熱帯諸国との交流が盛んになった今日、海外渡航者や来日外国人によって国内に持ち込まれる輸入マラリアが増加しており、最近では、年間120前後の患者発生と臨床経過が悪性の熱帯熱マラリアによる死亡例が散発していることが憂慮されている。加えて、現在の日本で遭遇するマラリアは大部分が熱帯地からの輸入症例であるが、まれに輸血(保存血、血小板、交換輸血) 針刺し事故などによる国内感染も起こっているため注意を要する。

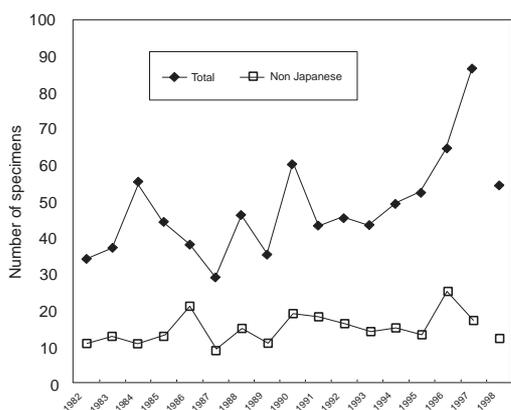


Fig. 1 Number of specimens sent to NIID: categorized according to the nationality of the patients. The data for 1998 is incomplete.

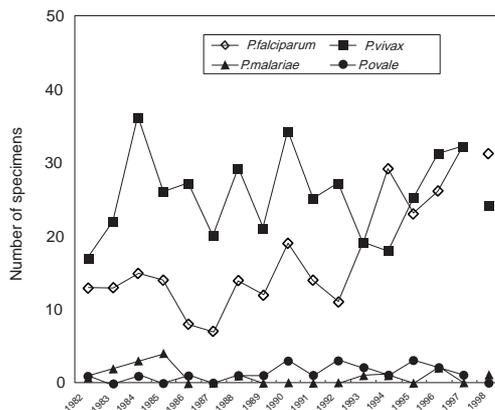


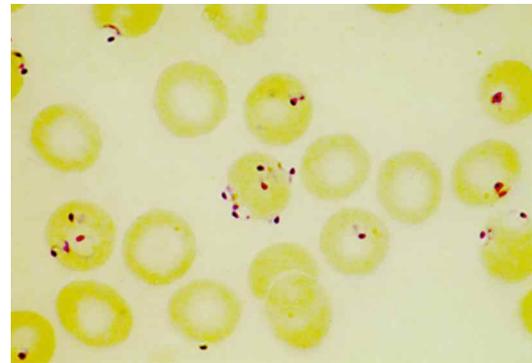
Fig. 2 Incidence of *Plasmodium falciparum*, *P. vivax*, *P. malariae*, and *P. ovale* in the examined specimens. The data for 1998 is incomplete.

### 病原診断

マラリアは多彩な症状を呈するため、症候学的診断が困難である。そこで、有熱患者を診たら直ちに血液検査を行うのが鉄則である。これには、虫種の鑑別、感染密度の測定が可能なギムザ液染色(pH7.2～7.4)した血液塗抹標本の鏡検により原虫を検索する古典的な方法が今日でも基本である。本法は形態学的な変化の観察から薬剤の効果判定にも用いることが出来る。この場合、臨床的に最も重要な熱帯熱マラリアでは発病直後に輪状体のみが観察され、感染赤血球は非感染赤血球と同大もしくはやや小さく、マウレル斑点を認める。やがてバナナ形の生殖母体が出現するが、成熟栄養体やシizontが検出されるのは稀である。

無性原虫の輪状体、栄養体、シizontのほか、生殖母体の全発育環が検出され、感染赤血球が非感染赤血球より膨大し、シュフナ - 斑点を認めれば、三日熱マラリア原虫か卵形マラリア原虫であり、後期栄養体が寄生する感染赤血球が卵円形で一端が鋸葉状を呈するのは後者である。あるいは、感染赤血球がやや縮小し、いずれの斑点も欠き、栄養体が帯状を呈するのは四日熱原虫である。

また、最近では原虫が発する蛍光を蛍光顕微鏡で観察するアクリジン・オレンジ染色法も用いられている。さらに、蛍光抗体法、DNA診断のPCR法なども開発されているが操作や検査時間に難点があり、日常的な検査法として普及するには至っていない。近年、海外では熱帯熱マラリア及び三日熱マラリアを対象とした特異抗原検出用キット(Dipstick法)が開発されており、10分で反応が完了する迅速診断法としての有用性が評価されている。



ヒト赤血球に感染した熱帯熱マラリア

### 臨床症状

マラリア、特に熱帯熱マラリアの臨床経過は複雑で、赤血球の原虫感染密度、合併症の有無、宿主の栄養や免疫状態などにより著しく影響される。潜伏期は通常、7～40日で、熱帯熱マラリアが最も短く、四日熱マラリアが最も長い。熱帯熱マラリアを除いてはさらに長期化することも少なくない。

三日熱、四日熱、卵形マラリアでは、食欲不振などの前駆症状の後に悪寒戦慄とともに39 前後の高熱を発生し、数時間後には大量に発汗して解熱するが、発熱時には頭痛、顔面紅潮、頻脈、呼吸切迫、口渴を伴うことが多い。この熱発作は第5病日頃から赤内型無性原虫の分裂周期が同調して悪寒期、灼熱期、発汗期から成る特有の熱発作を呈するようになり、三日熱と卵形マラリアでは48時間、四日熱マラリアでは72時間毎に認められる。この反復により次第に貧血と脾腫をみるようになるが、一般にその経過は良性である。しかし、四日熱マラリアは慢性化するとネフロ - ゼ症候群を併発することがある。

熱帯熱マラリアでは、病因原虫の分裂周期は概ね48時間であるが、熱型不規則な高熱を持続することも多く、冷感はあるが戦慄を欠くことが多い。また、その経過は悪性で、治療開始が遅れると高度の虫血症を呈し、嘔吐、黄疸などのほか、頭痛、傾眠、錯乱、譫妄、昏睡など種々の程度の脳症、急性腎不全、肺水腫/ARDS、重度貧血、出血傾向、低血糖、電解質異常、代謝性アシド - シス、循環不全によるショック、ヘモグロビン尿症などの多彩な病態や重篤な合併症を併発して死の転帰をとる危険が高くなる。

臨床検査所見では、発病当初はさしたる異常を認めないが、しだいに正球性貧血、赤血球の大小不同、多染性と網赤血球の増加を認め、赤血球数、Hb.Htなどが低下し、一般に白血球数の減少傾向に伴う相対的単球増多、血沈亢進、CRP上昇、血小板減少、LDHの増加などがみられるようになる。

また、熱帯熱マラリアでも合併症を伴わない発病初期の軽症例では、GOT, GPT, ビリルビンなどの軽度上昇をみるのみである。しかし重症例では、高度の貧血、LDHの著増、血小板の著減、プロトロンビン時間、部分的トロンビン時間の延長、総コレステロールの著減と中性脂肪の増加、FDPの増加と第Ⅴ凝固因子の減少、乏尿(400ml/日以下)や無尿に伴うクレアチニンやBUNの上昇、血糖値の低下、電解質異常、高グロブリン血症、代謝性アシドシスの所見を呈するようになる。

## 治療

マラリア治療の基本は化学療法であるが、抗マラリア薬は原虫種とその発育環に特異的な効果をもち、その薬理作用から殺シizont薬、殺ヒブノゾイト薬、殺生殖母体薬に類別され、発熱抑止療法に用いる殺シizont薬が最も重要である。しかし、代表的な殺シizont薬に対する熱帯熱マラリア原虫の耐性株が1960年以降各地に出現しているため、熱帯熱マラリアの治療が以前より困難になっている。

### 1) 三日熱マラリア、卵形マラリア、四日熱マラリアの治療

熱発作治療の選択薬はクロロキンである。初回600mg、6時間後、24時間後、48時間後に各300mg塩基経口投与。副作用として胃腸障害、頭痛、長期投与により網膜損傷を起こすことがある。また、キニネ、ファンシダールなども有効。

上記熱発作療法後に三日熱と卵形マラリアには肝細胞内発育環のヒブノゾイトをプリマキン(15mg塩基/日、14日間投与)で殺滅して再発を防止する根治療法を行う。腹痛のほか、G-6PD欠損者では溶血発作を起こすことがある。

### 2) 合併症を併発していない熱帯熱マラリアの治療

ファンシダール(スルファドキシシン500mg、ピリメタミン25mg/錠)3錠の単回投与。副作用として胃腸障害、顆粒球減少、まれにStevens-Johnson症候群を起こす。

硫酸キニネ、1.5g/日、分3で7日間投与。これに、テトラサイクリン1.0g/日、分4、7日間を併用。薬剤耐性の度合いが高い地域で感染した患者に適用。キニネの副作用として胃腸障害、眩暈、頭痛、耳鳴りを起こすことがある。

メフロキン(250mg/錠)4錠(1,000mg)を単回投与または6～8時間間隔で2分服。副作用として胃腸障害、頭痛、眩暈のほか、ときに不眠、悪夢、洞性徐脈を呈する。精神神経疾患、痙攣の既往患者には禁忌。また、ジゴトキシシン、カルシウム拮抗薬、β-ブロッカなどを服用している患者には禁忌または慎重投与などの適応上の制限がある。

アトバコン・プログアニル合剤(アトバコン250mg、塩酸プログアニル100mg含有/錠)最近開発されたアトバコンは、マラリア原虫のチトクロムbを阻害して、クロロキンやメフロキン耐性マラリアにも高い治癒率を示すとされている。1日1回4錠を同じ時間に3日間投与。副作用は軽微で胃腸障害や咳などと報告されている。

### 3) 重症熱帯熱マラリアの治療

キニネの非経口療法: 二塩酸塩キニネ10mg/kgを5%ブドウ糖液か生理食塩水500ml(患者の水分状態により増減)に溶解し、4時間かけて点滴静注。必要に応じ、8～12時間毎に繰り返し、

患者が軽快したら経口療法に切り替える。なお、重症マラリアでは、血糖値が低下するのに加え、キニ - ネはインシュリン分泌を促進するので投与中は血糖値のモニタリングを行う。また、血圧、不整脈発現の監視も重要である。

アルテミシニンとその誘導体: 中国で古くから民間療法に用いられて来た薬用植物から抽出された抗マラリア薬で、有効成分のアルテミシニンとその誘導体(artemether, arte-ether, artesunate, dihydroartemisinin)が中国や欧州の製薬企業で製剤化されている。これらの薬剤はこれまでの抗マラリア薬とは化学構造が著しく異なり、活性酵素による傷害作用がその本態である。これらの薬剤は即効性で副作用も軽微で脳症などを発現した熱帯熱マラリアにもキニ - ネの非経口療法に匹敵する効果を発揮するとされている。しかし、再燃率が高いためメフロキンなどによる追加療法が必要である。なお、アルテミシニン誘導体にはその種類により内服錠、坐薬、注射液などの剤型があるが、その用法・用量が明確に確定されていない製剤もある。

#### 重症マラリアに対する支持療法

重篤な病態や合併症を発現した熱帯熱マラリアには原因療法だけでなく、病態に応じた適切な支持療法の強化が救命に不可欠である。WHOは1990年に重症マラリアの判定基準と治療のガイドラインを策定しており、とくに重要なのは脳症、肺水腫/ARDS、急性腎不全、代謝性アシドーシス、出血傾向、重症貧血などであり、化学療法にあわせてこれらに対する臨床管理が適切にされるか否かが患者の予後に直接影響することを銘記すべきである。なお、現在のわが国に流通している抗マラリア薬はキニ - ネと1987年に承認されたファンシダ - ルの2種のみである。そこで、患者治療にクロロキン、メフロキン、キニ - ネ注射液、ア - テスネ - ト、アトバコン、プリマキンなどが必要な場合は、筆者らが関与しているヒュ - マンサイエンス振興財団「輸入熱帯病・寄生虫症に対するオ - ファンドラッグの臨床評価に関する研究班」に連絡すれば、便宜がはかられる。

#### 感染症新法の中でのマラリアの取扱い

マラリアは第4類の全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に保健所に届出が必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

- ・病原体の検出

例: 血液塗抹標本による顕微鏡下でのマラリア原虫の証明と、鏡検による虫種の確認など

- ・病原体の遺伝子の検出

例: PCR法など

#### 《備 考》

診断のため、マラリア原虫の形態保持の観点から採血後は速やかに血液塗抹標本を作製することが強く望まれる。

(東京慈恵会医科大学熱帯医学講座 大友 弘士)



## 読者のコーナー

投稿:「溶連菌感染症について」 千葉県Sクリニックより

当医院におきましては昨年6月より溶連菌感染症が継続的に流行しております。

本来は、冬場に多い感染症とされておりますが、季節に関係なくすでに12カ月間と長期に渡り流行が続いております。この間、約3,000例程度の症例の検討をして参りましたが、症状が非常に多彩であり、原因の同定がしづらい状況となっております。

年齢に関係なく、最近頻りに風邪を繰り返す、自分でもうまく説明できないが体調がすぐれない等の訴えが多く見受けられます。当初、私自身が同様の症状を呈し、溶連菌の流行に気付いたわけですが、その後も引き続き溶連菌が咽頭より証明(Strep.A:A群 溶連菌抗原検出用キット-ダイナボット)される症例が増える一方、症状が多彩になってきました。多い症状としましては、咽頭痛、発熱、咳嗽、全身倦怠感(もとより)、胃腸障害(胃の不調、腹痛、嘔吐、下痢等)、頭痛、頸部痛、背部痛、胸痛、動悸、蕁麻疹さらには眩暈などがあげられますが、ただ単に体調の不調を訴える方もいらっしゃいます。

昨年夏の流行当初には保育園、幼稚園、小学校などを中心に広がっていたようです。

### 感染症情報センターよりコメント

ご存知のように、A群連鎖球菌は非常に多彩な臨床症状を引き起こす、もっともありふれたグラム陽性菌感染症です。病型として、急性咽頭炎、膿痂疹、蜂巣織炎、あるいは特殊な型として猩紅熱があり、これら以外にも中耳炎、肺炎、化膿性関節炎、骨髄炎、髄膜炎などがあり、また非化膿性疾患として、リウマチ熱や急性糸球体腎炎をおこすことが知られています。

溶連菌感染症はいずれの年齢でも起こりますが、学童期に最も多く、3歳以下や成人では典型的な臨床像を呈する症例は少なくなります。感染症発生動向調査のデータからは一般的には冬に報告数が増加しますが、春から初夏にかけて患者数が増加する年もあります。通常、A群溶連菌性咽頭炎のある患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときにおこりやすくなりますが、流行状況に差があることの原因については不明です。なお食品を介した集団発生の報告もあります。

病原診断は、咽頭培養により溶連菌を分離培養することが基本ですが、最近ではA群多糖体抗原を検出する迅速診断キットが臨床の現場で広く利用されるようになってきております(健康保険適用)。迅速診断キットの特異度は一般的に高いといえますが、感度は50～95%とさまざまです。検査結果は抗原量、すなわち菌量に依存するため、咽頭擦過物を丁寧に採取することがよりよい結果を得ることになります。

血清学的に、抗streptolysin-O(ASO)、抗streptokinase(ASK)、抗hyaluronidase(AHD)、抗DNAase B(ADN-B)、抗A群連鎖球菌多糖体(ASP)などの菌体外抗原や菌体抗原に対する抗体の上昇を確認すれば、診断の参考になります。

治療はペニシリン系薬剤が第1選択薬となります。ペニシリン系にアレルギーがある場合にはエリスロマイシンが適応となり、また第1世代のセフェムも使用可能です。いずれの薬剤であってもリウマチ熱、急性糸球体腎炎など非化膿性の合併症予防のために、少なくとも10日間確実に抗生剤を投与し、服薬を指導することが重要です。なお適切な抗生剤治療が行われれば、ほとんどの場合24時間以内には他人への感染を防げる程度に菌量を抑制することが出来るので、抗生剤治療開始後24時間以上を経ているれば、全身状態の良いものは登校、登園等は可能になると考えられます。

\*\*\*\*\*

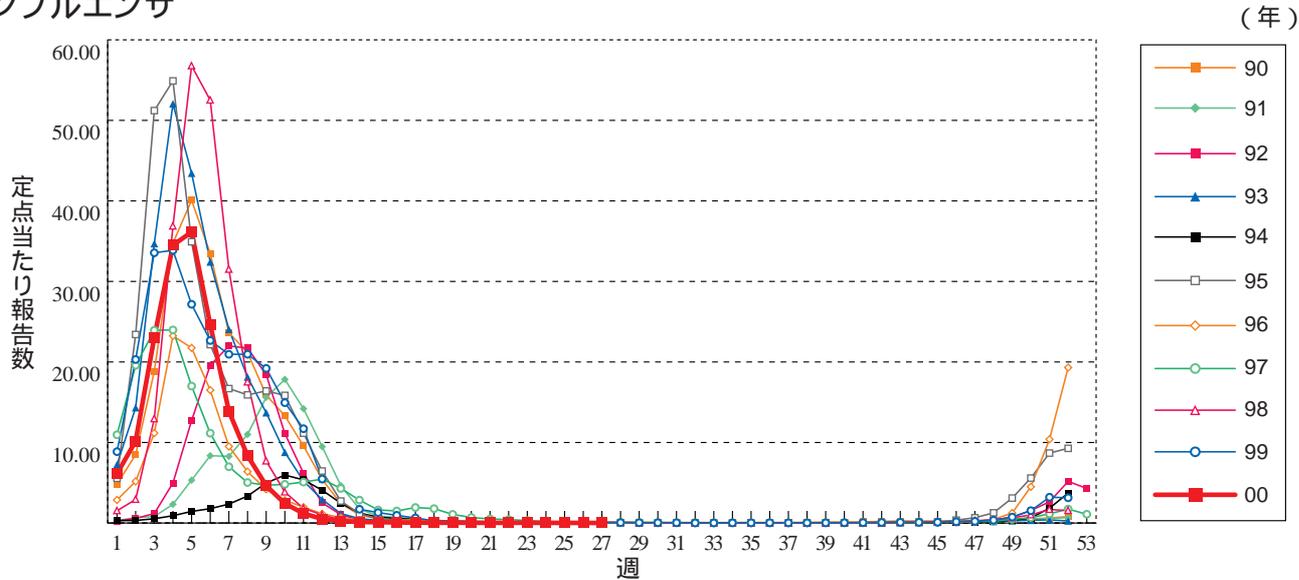
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

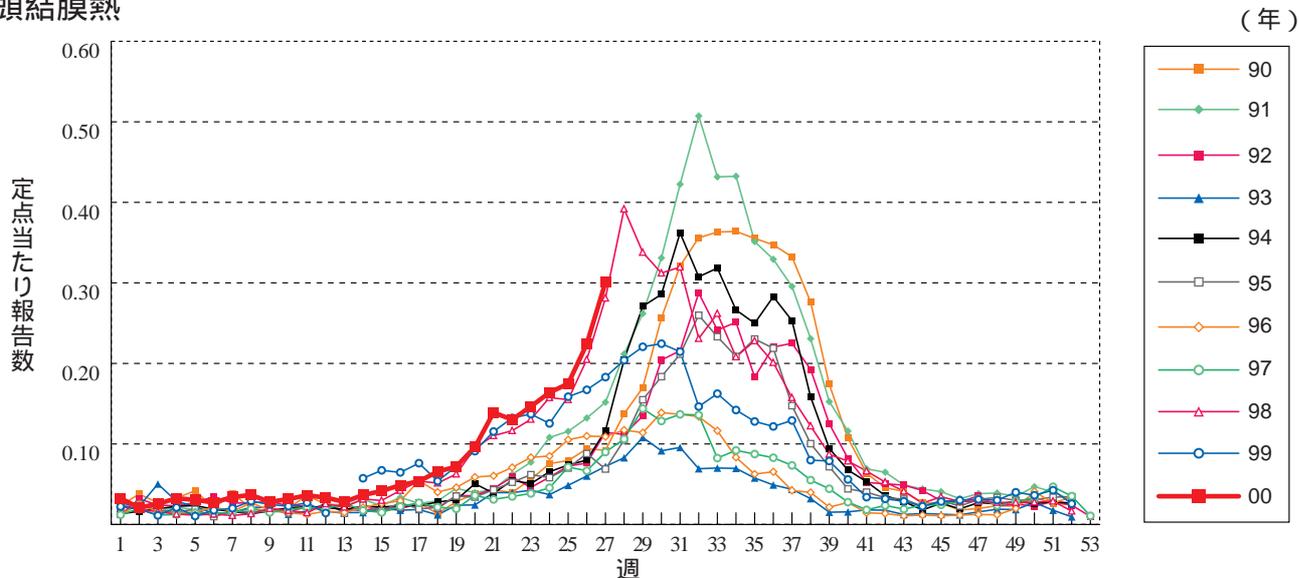


**グラフ総覧(27週)**

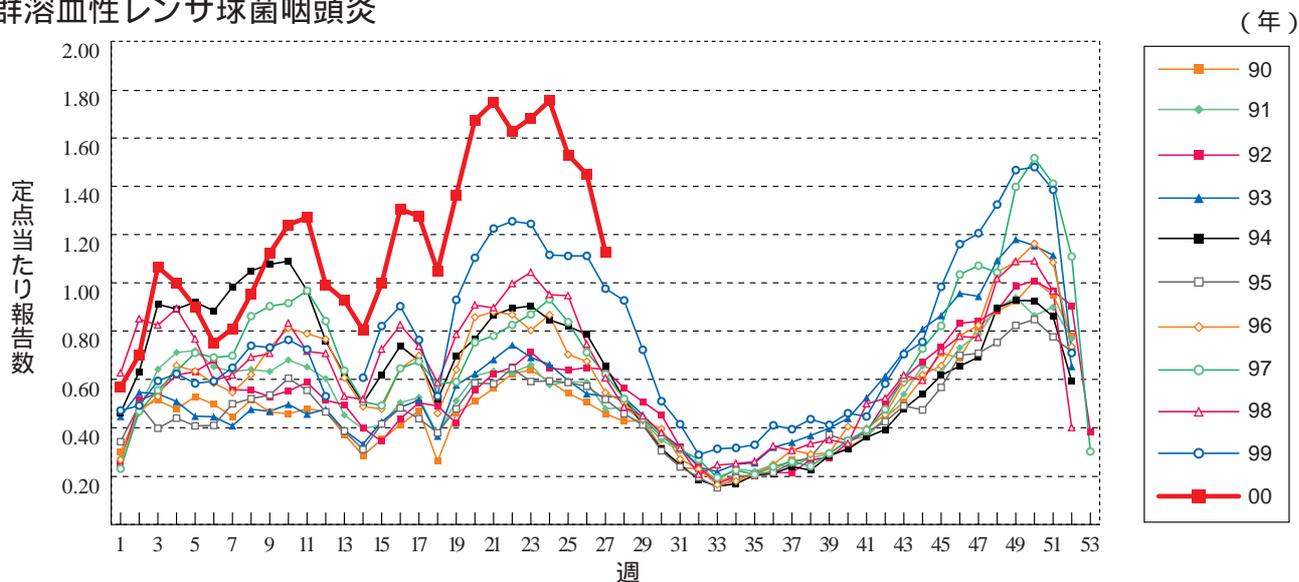
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

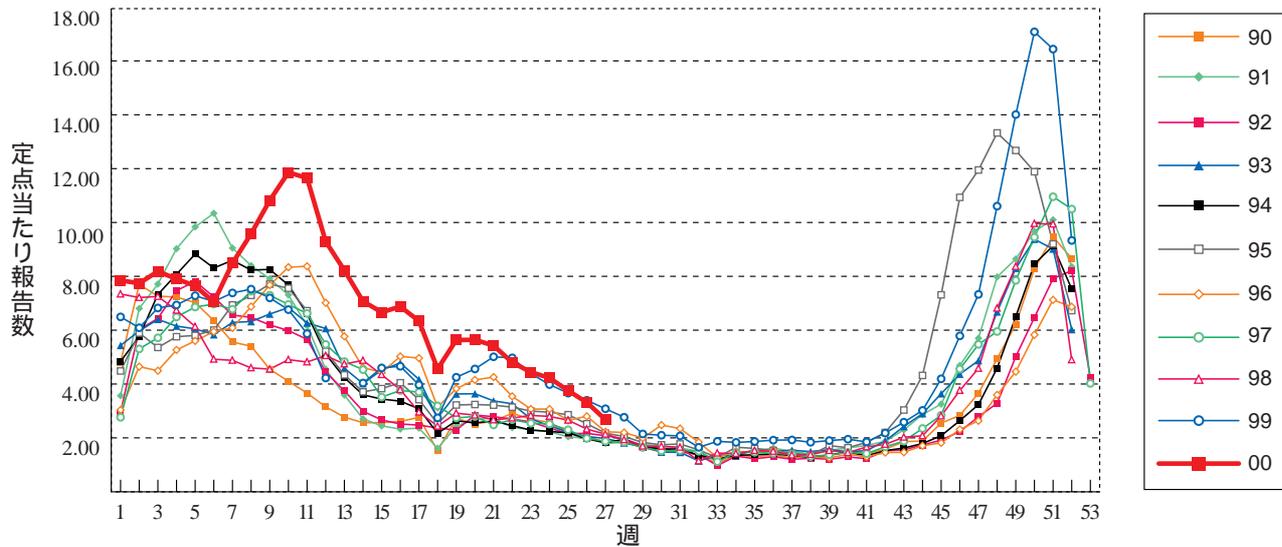


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



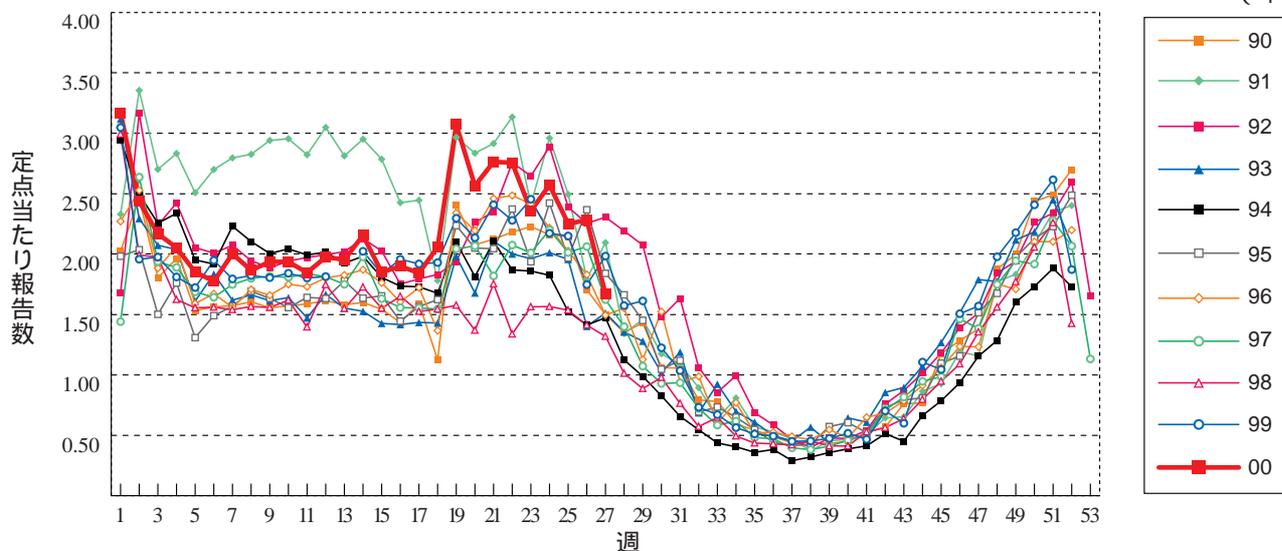
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む

(年)



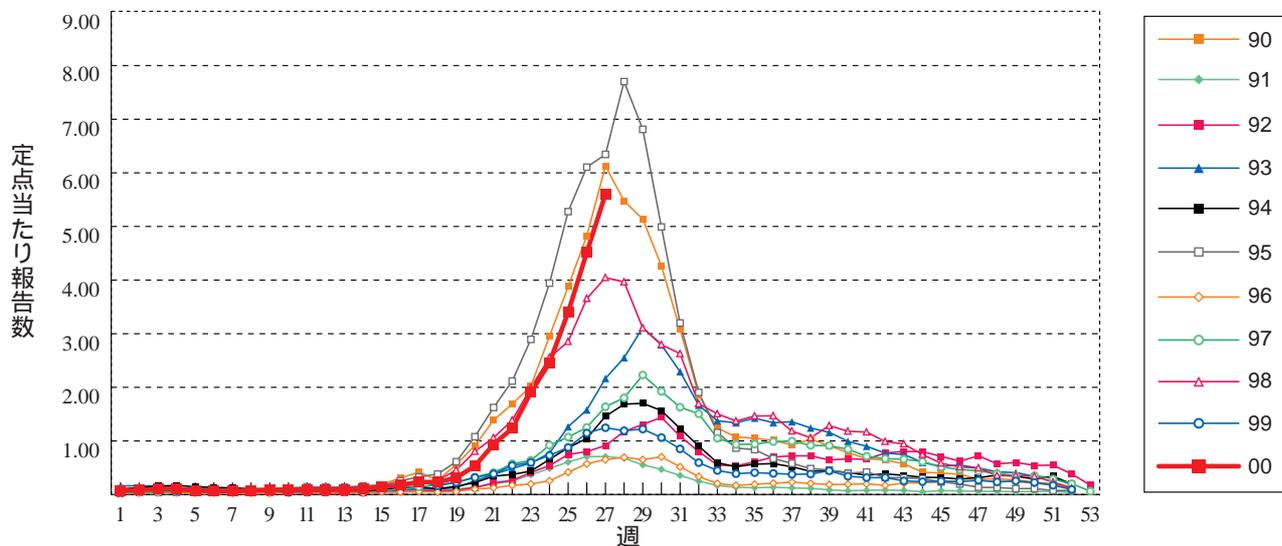
**水痘**

(年)

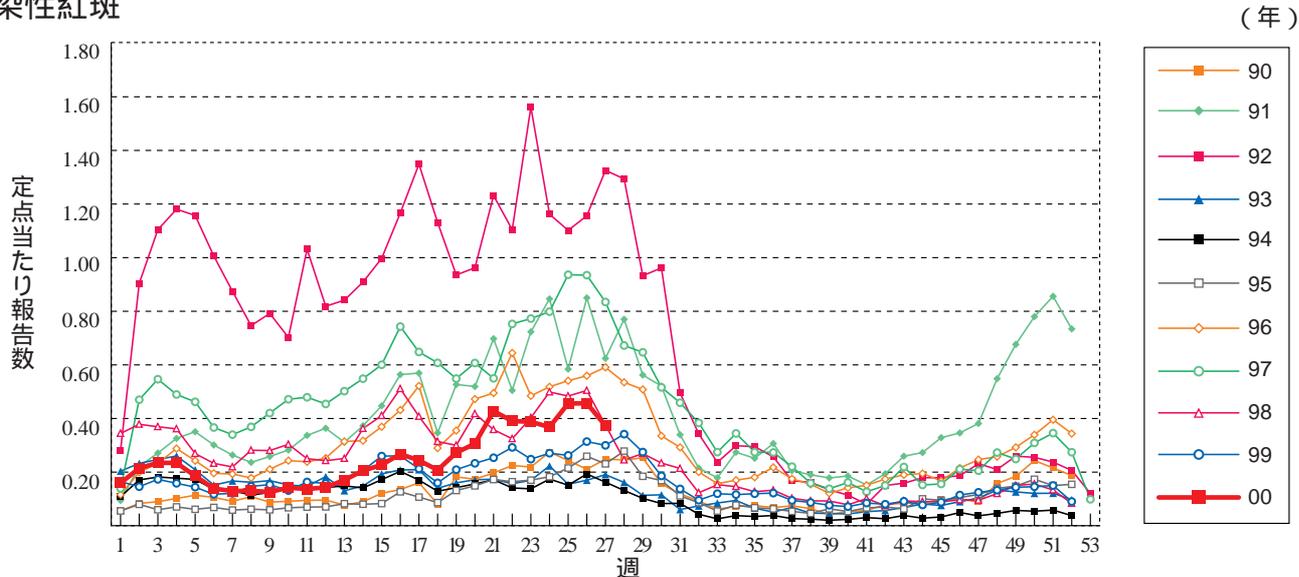


**手足口病**

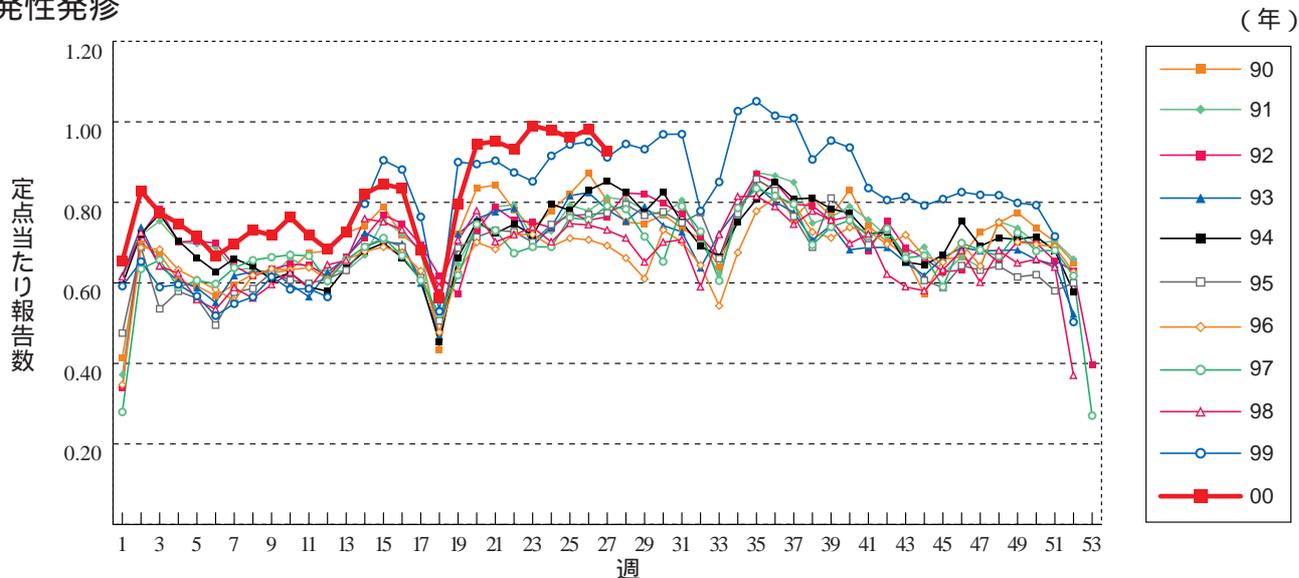
(年)



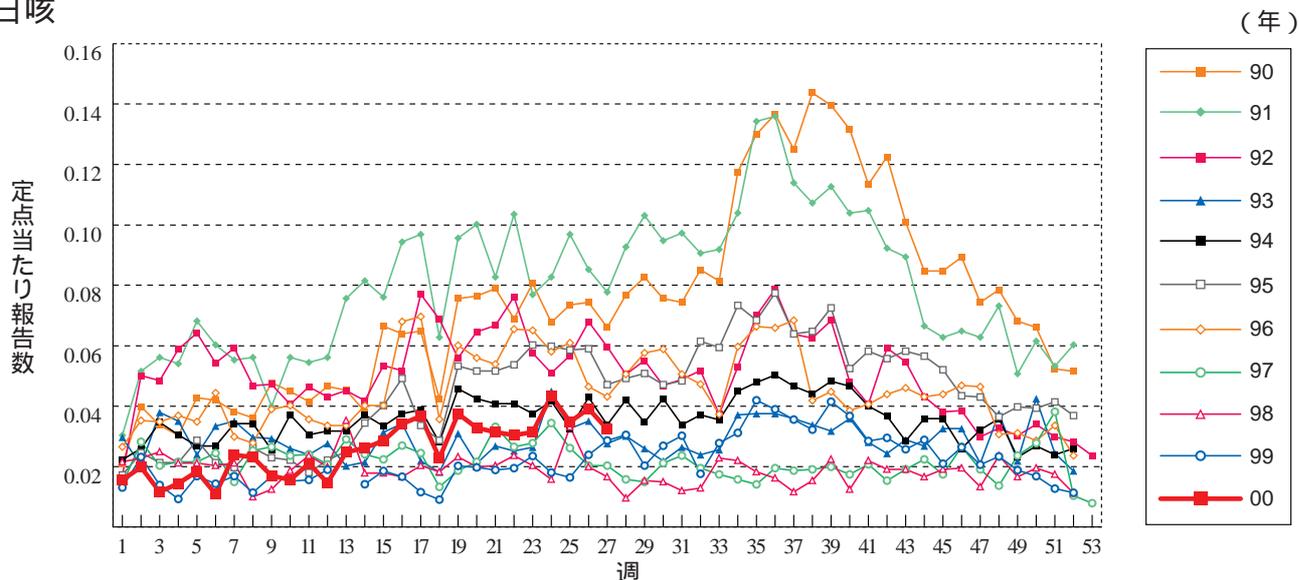
伝染性紅斑



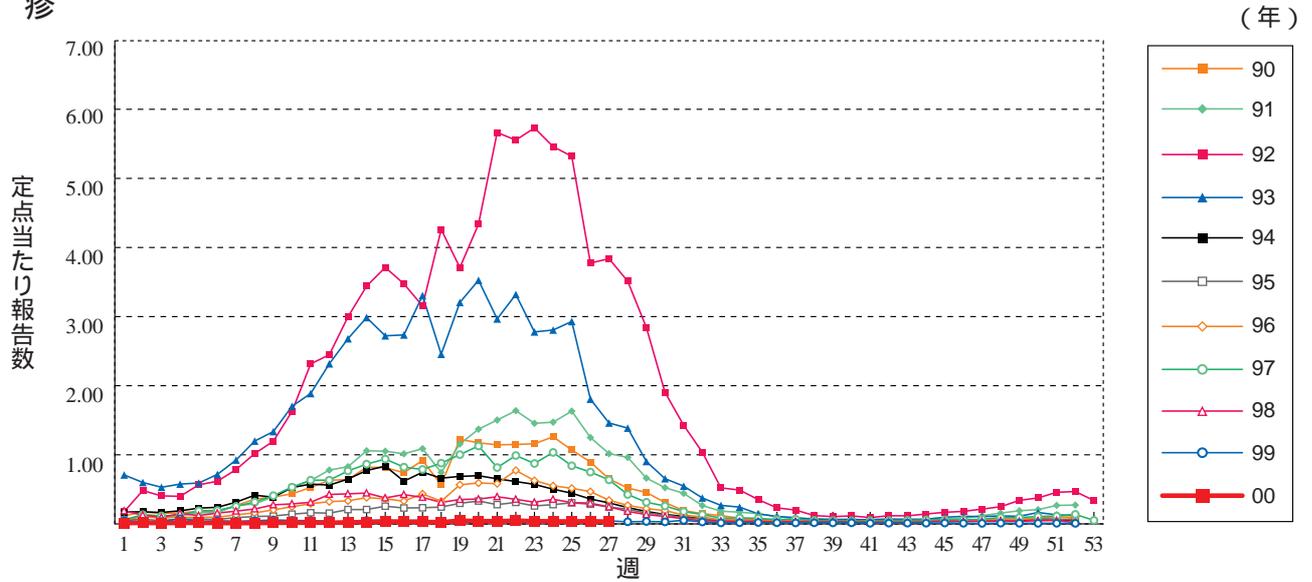
突発性発疹



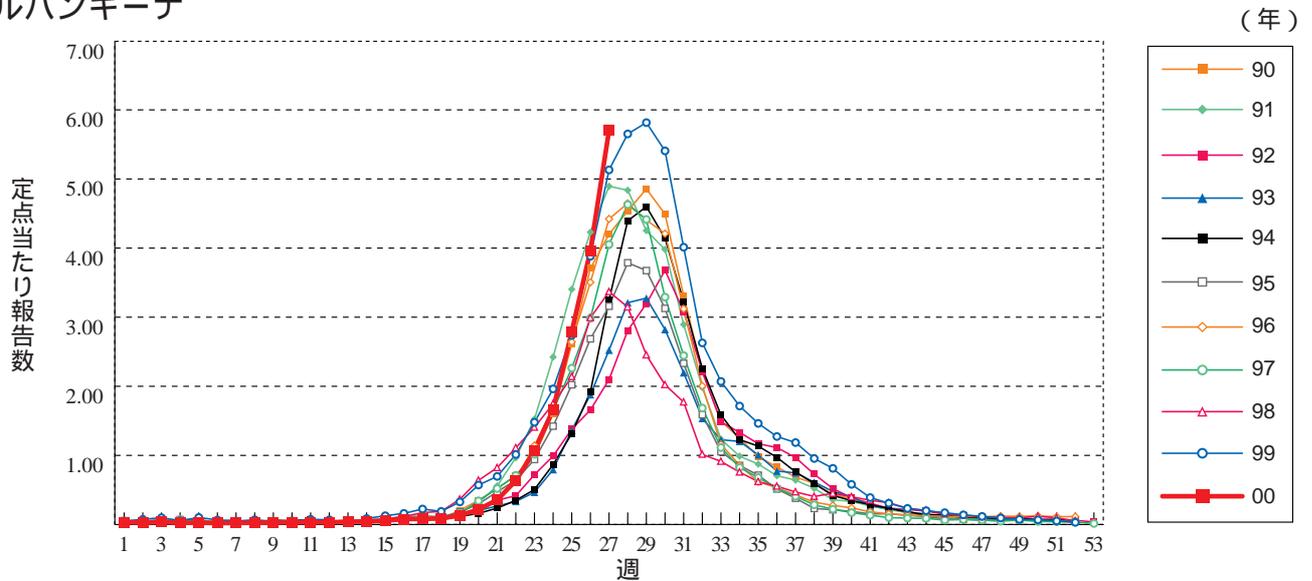
百日咳



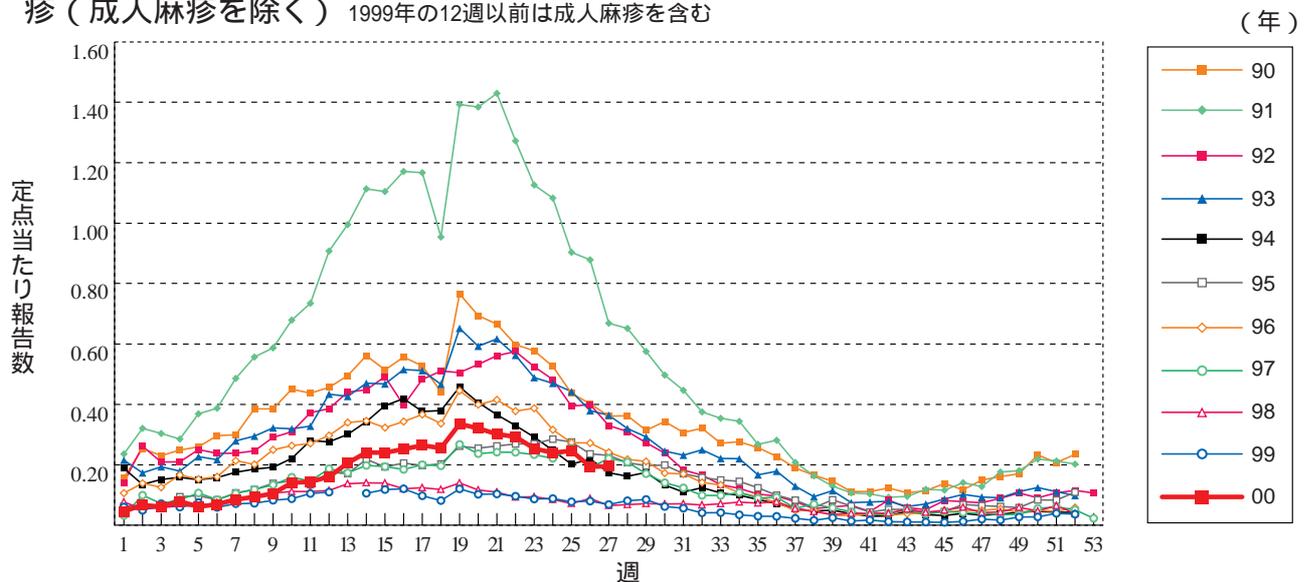
風 疹



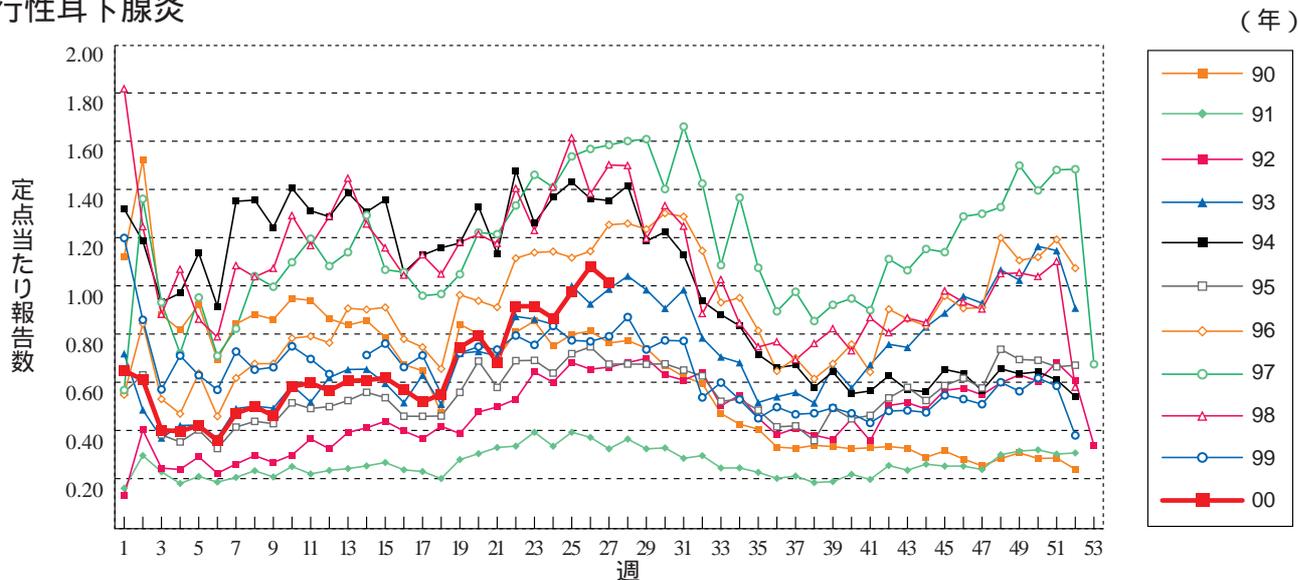
ヘルパンギーナ



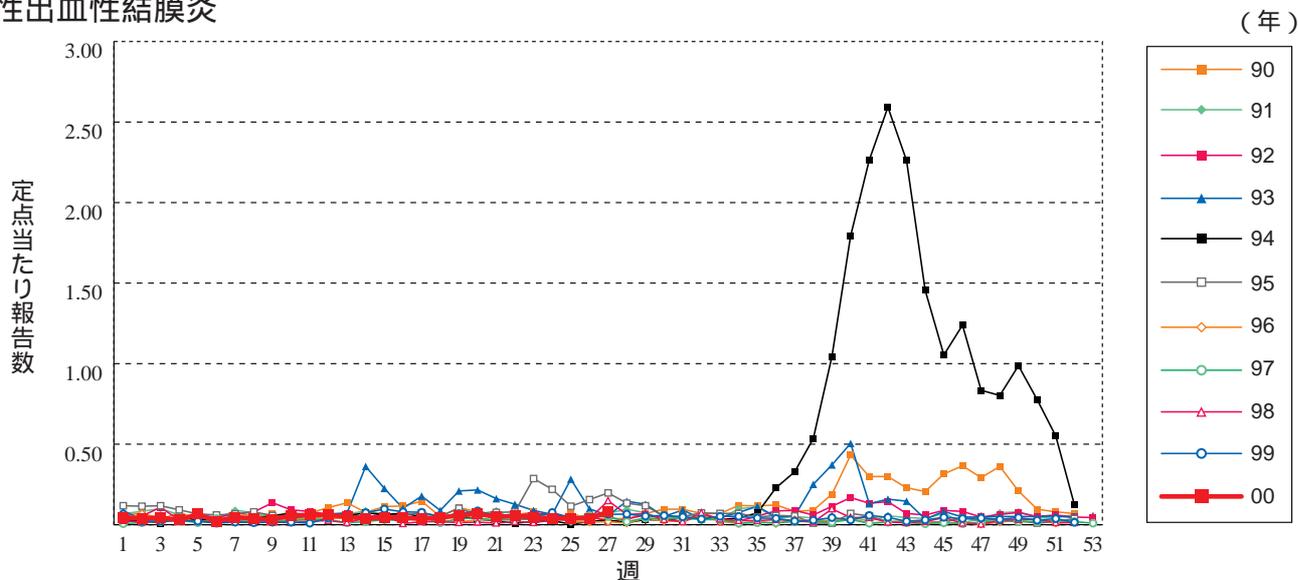
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



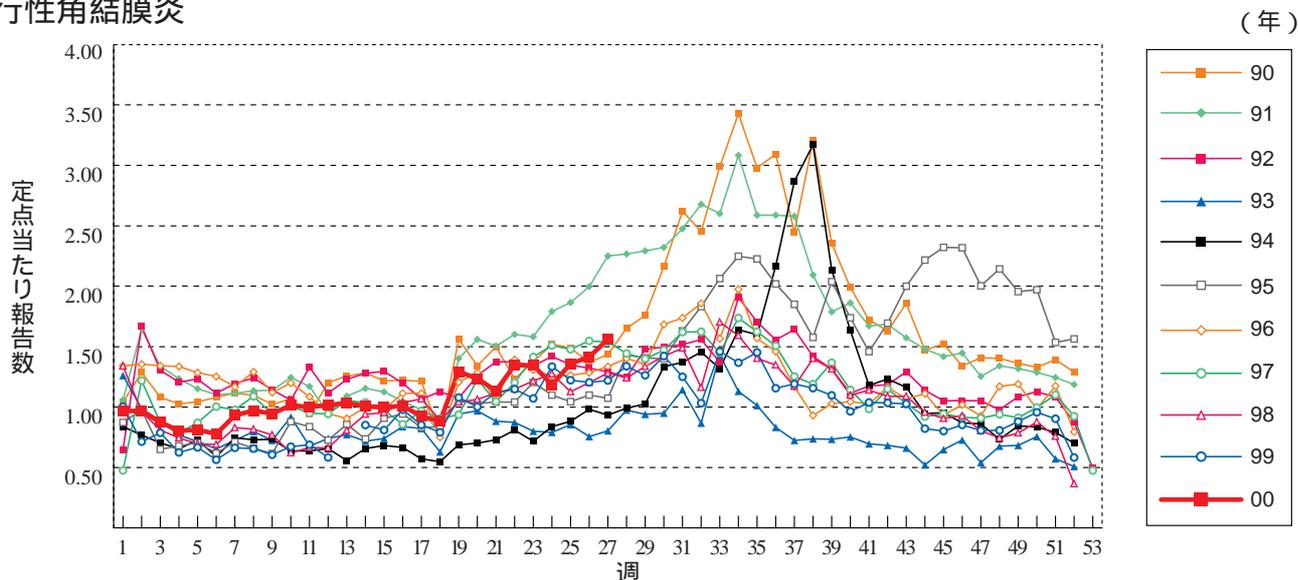
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

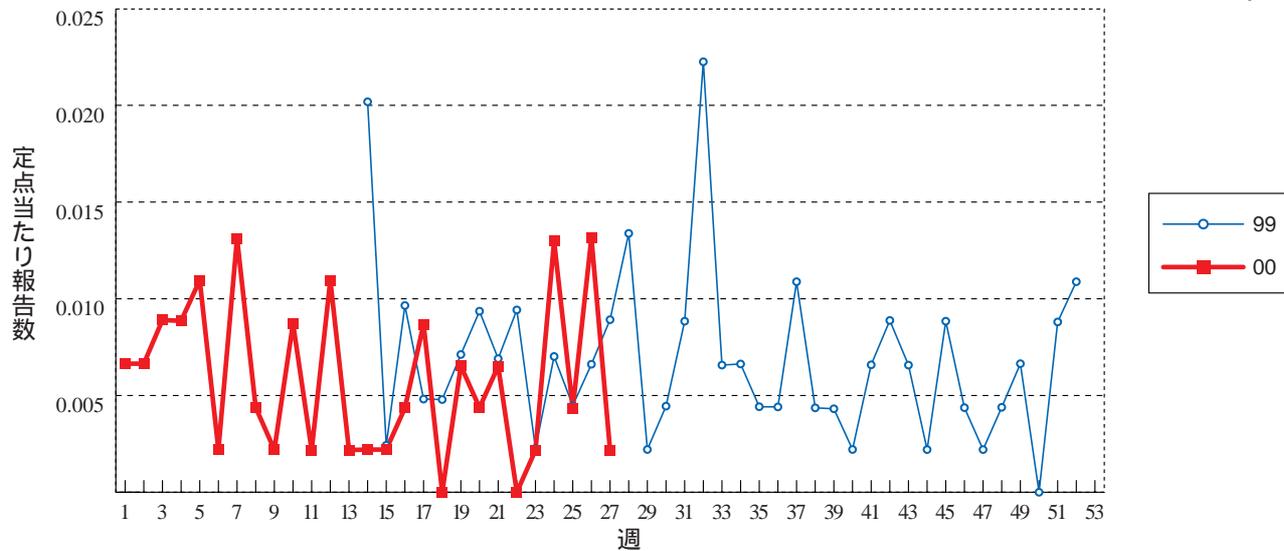


流行性角結膜炎



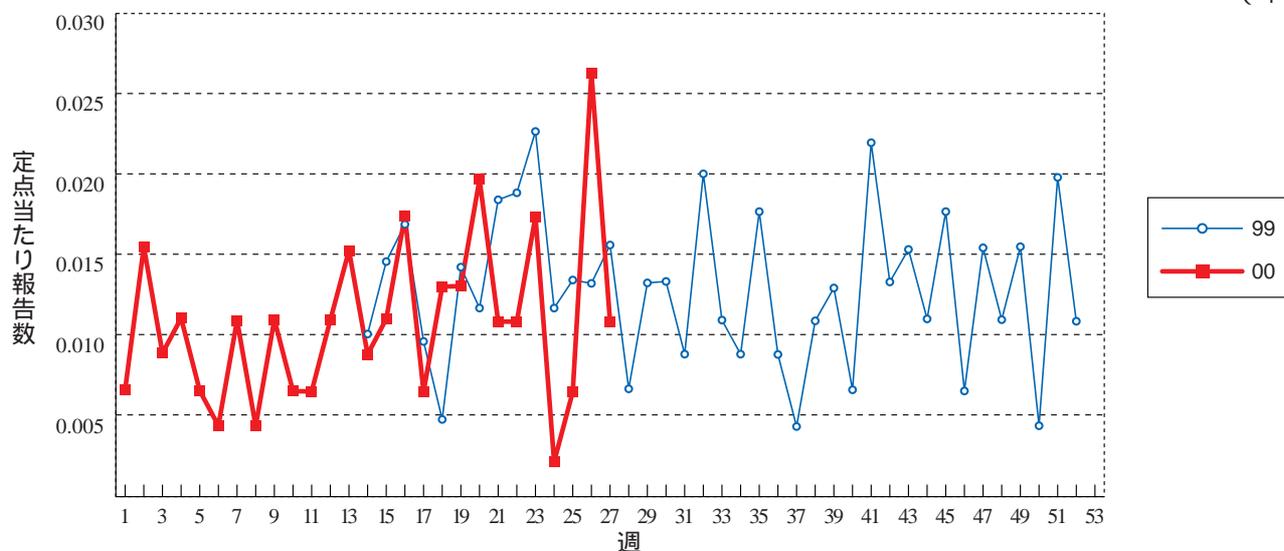
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



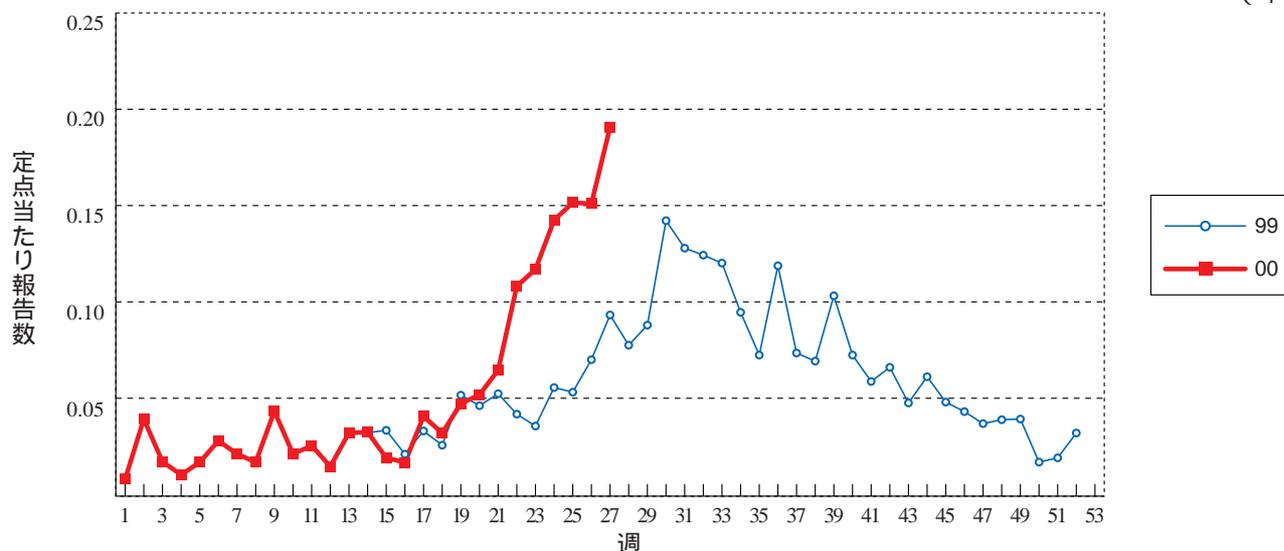
細菌性髄膜炎

(年)



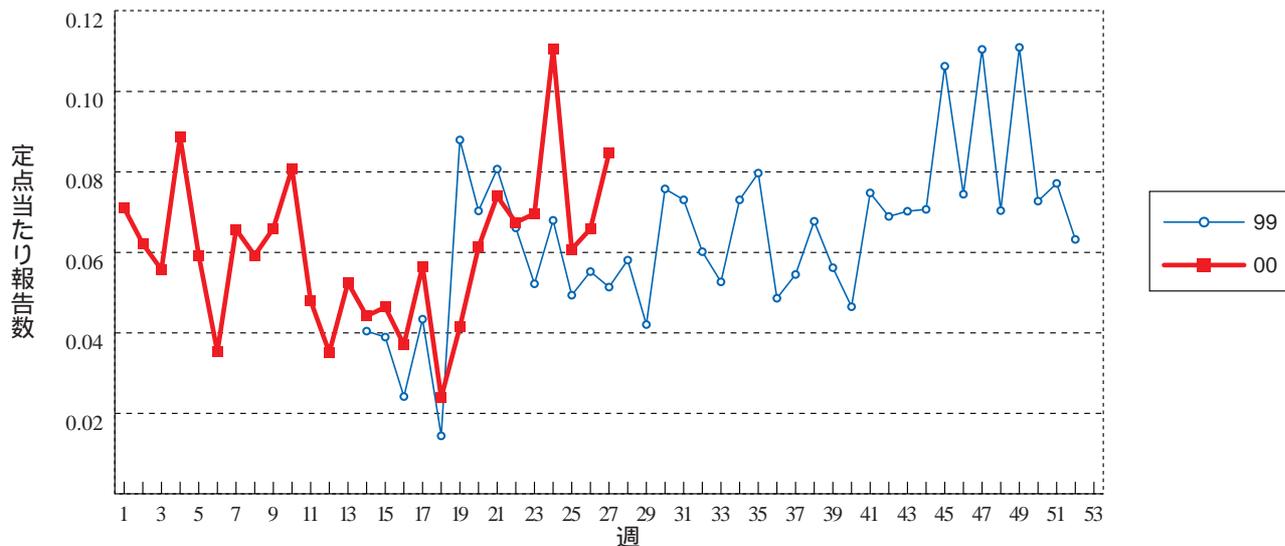
無菌性髄膜炎

(年)



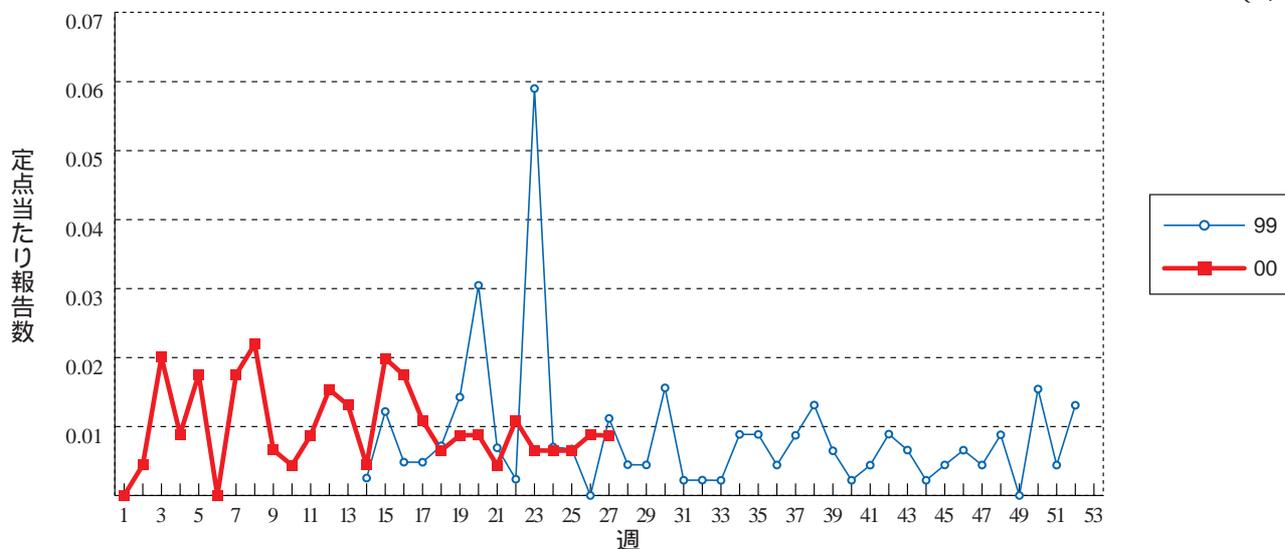
マイコプラズマ肺炎

(年)



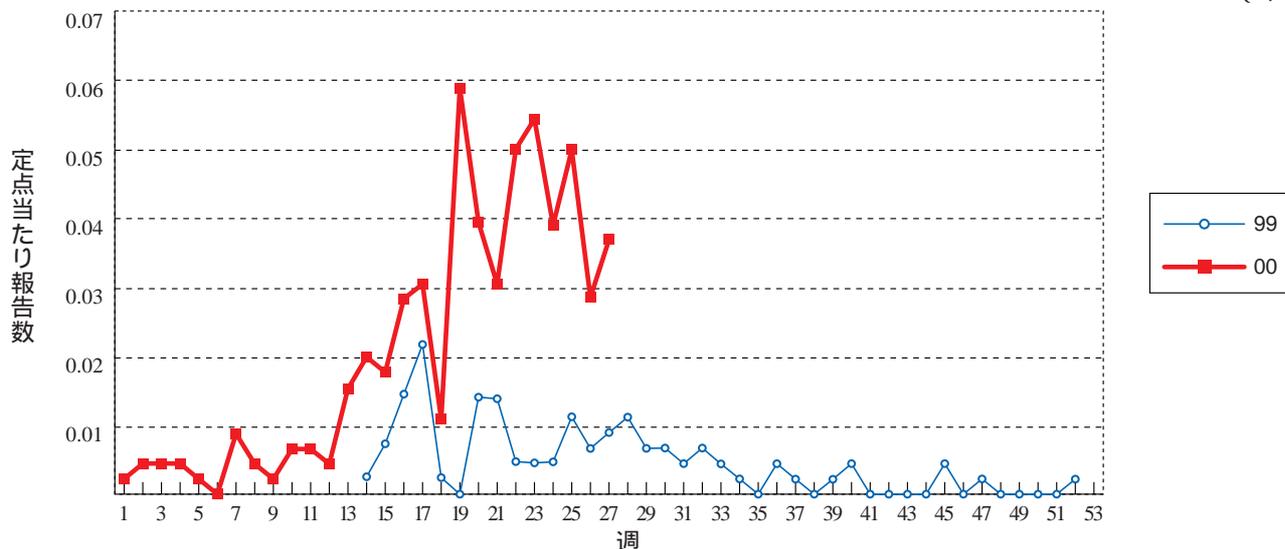
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

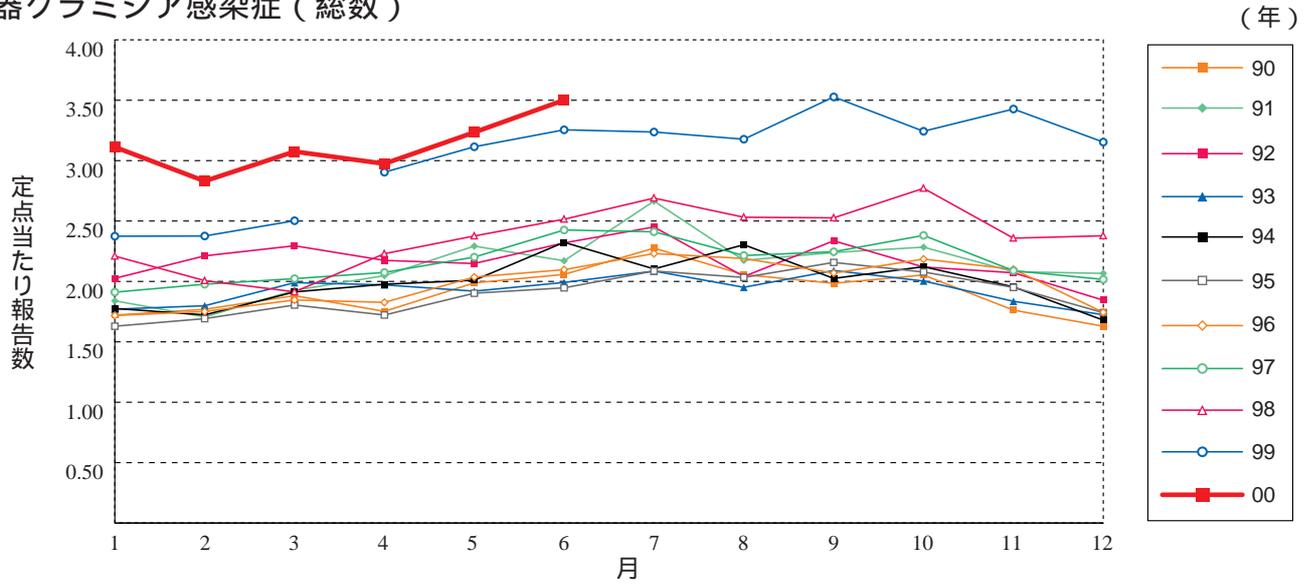




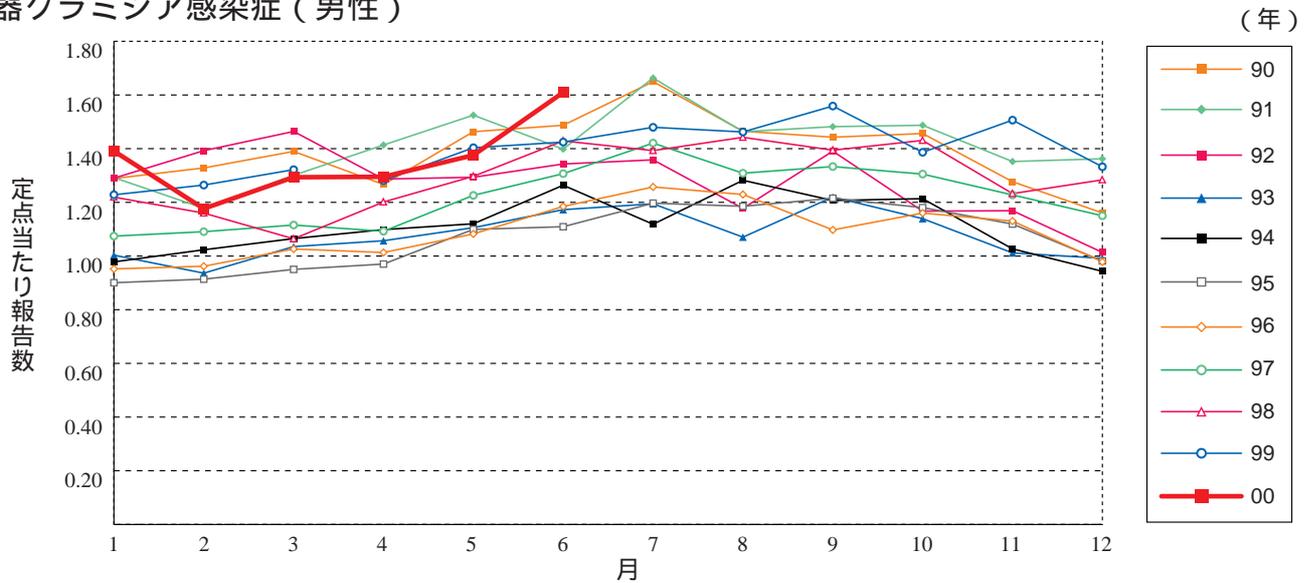
**グラフ総覧(6月)**

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

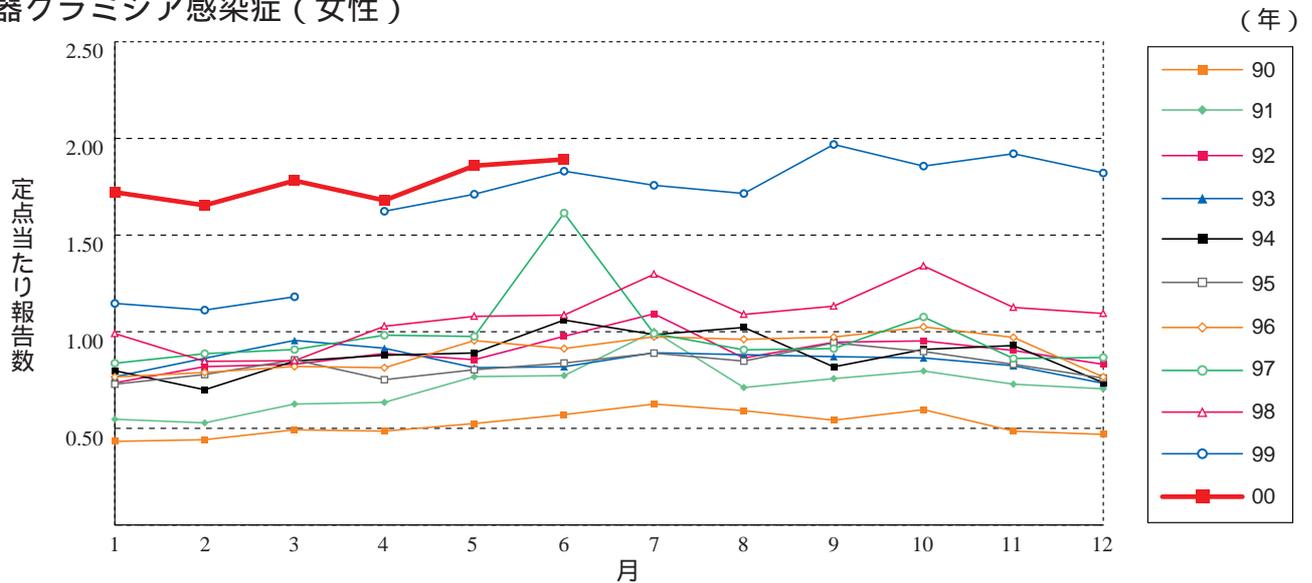
**性器クラミジア感染症(総数)**



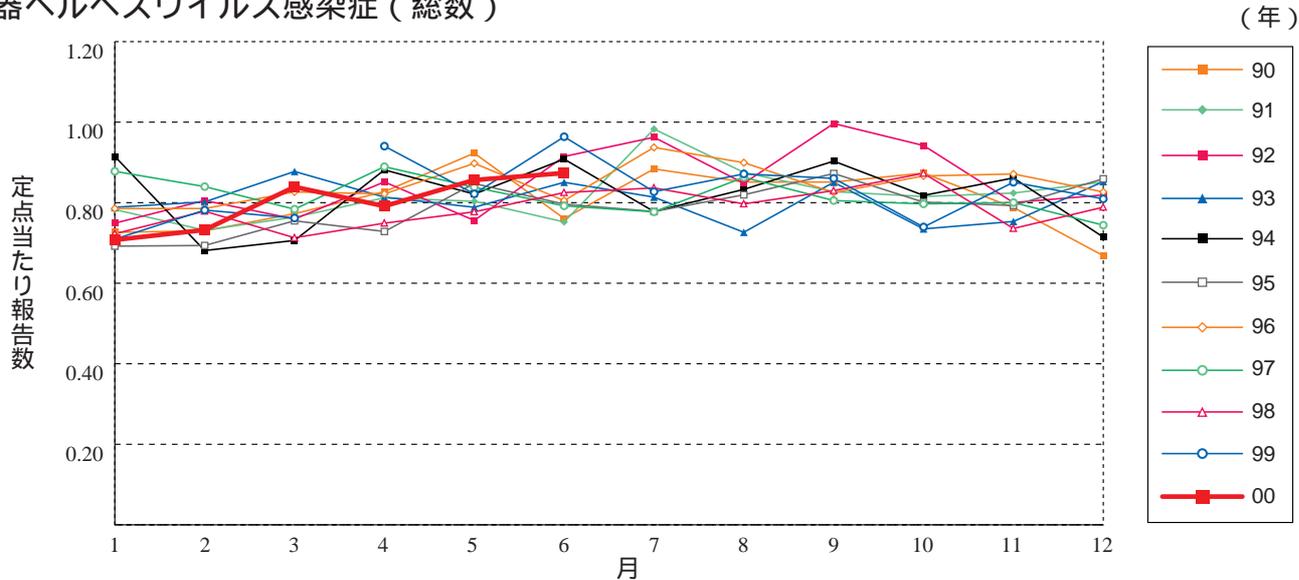
**性器クラミジア感染症(男性)**



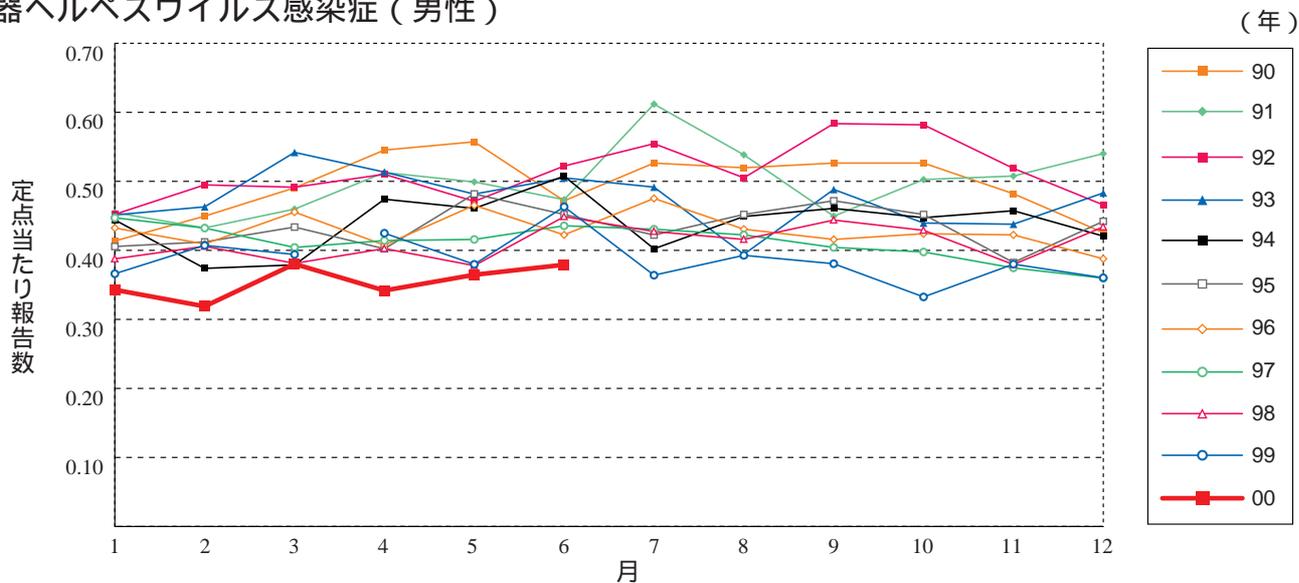
**性器クラミジア感染症(女性)**



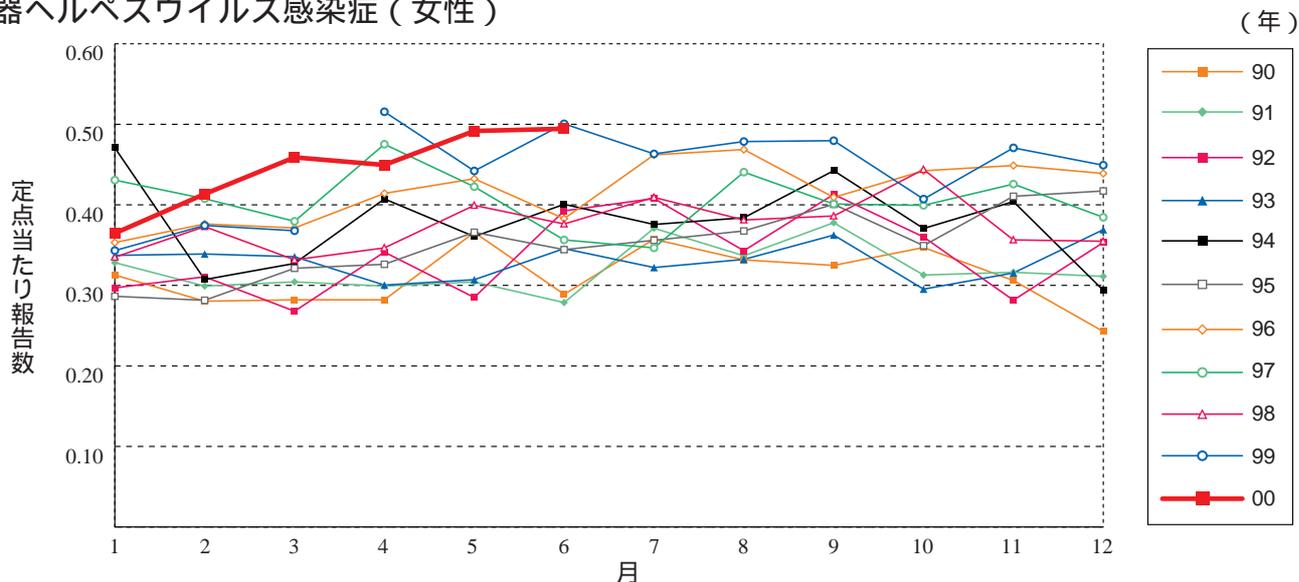
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



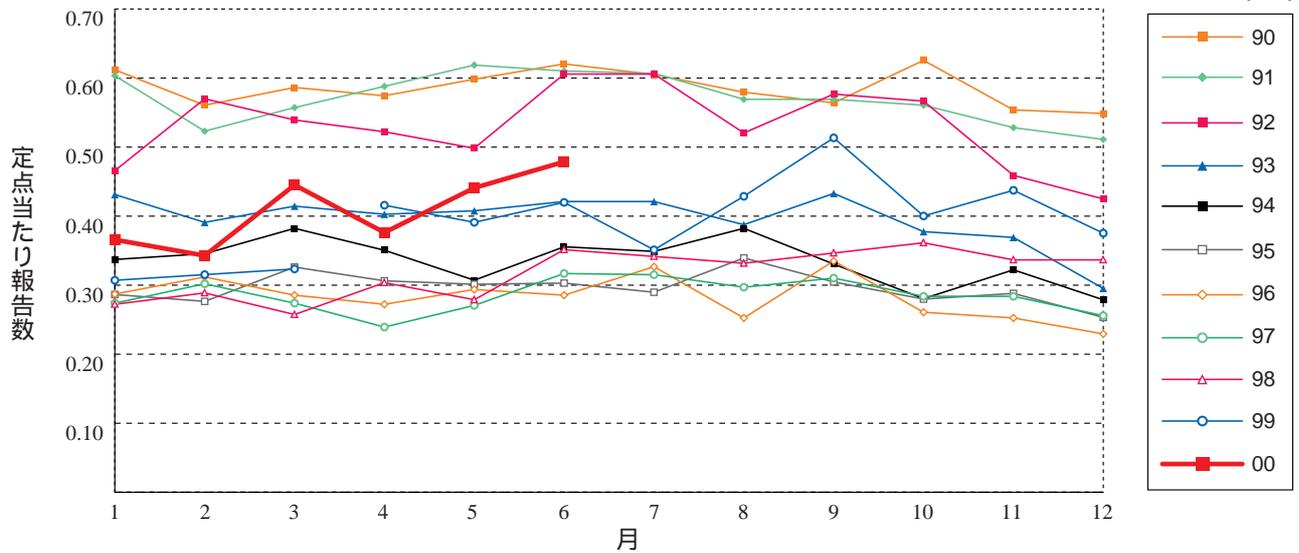
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



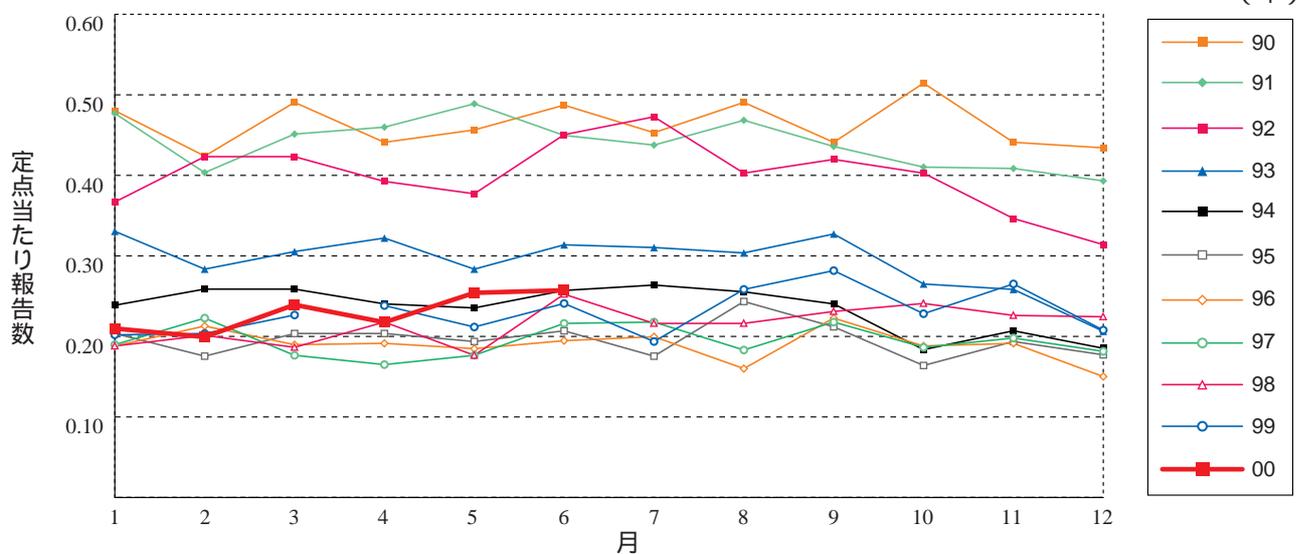
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



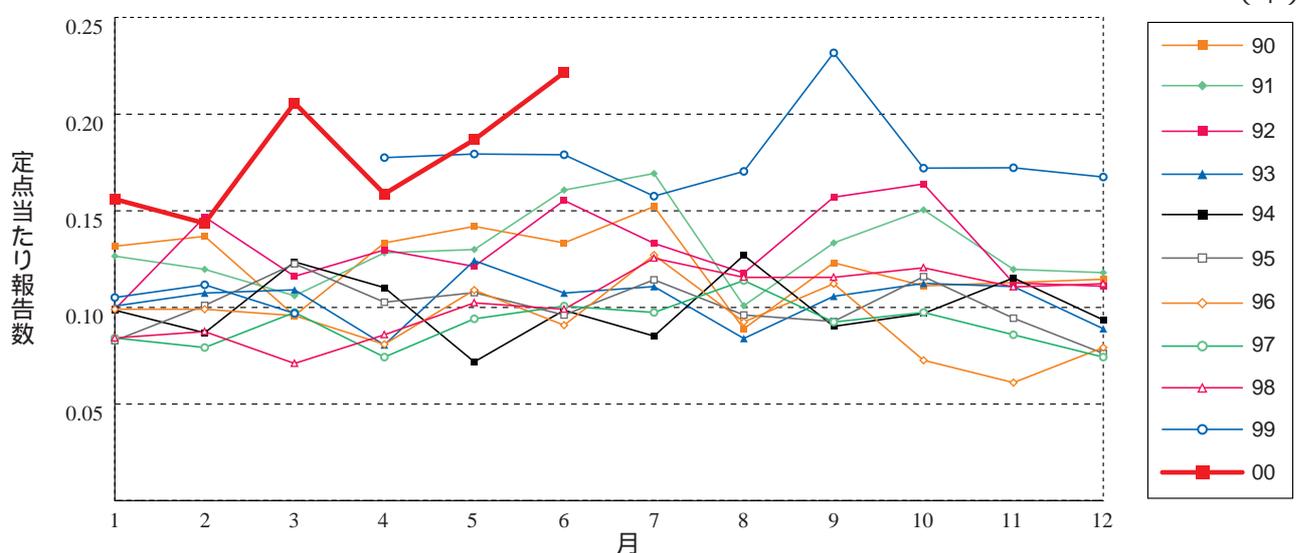
尖形コンジローム (総数)



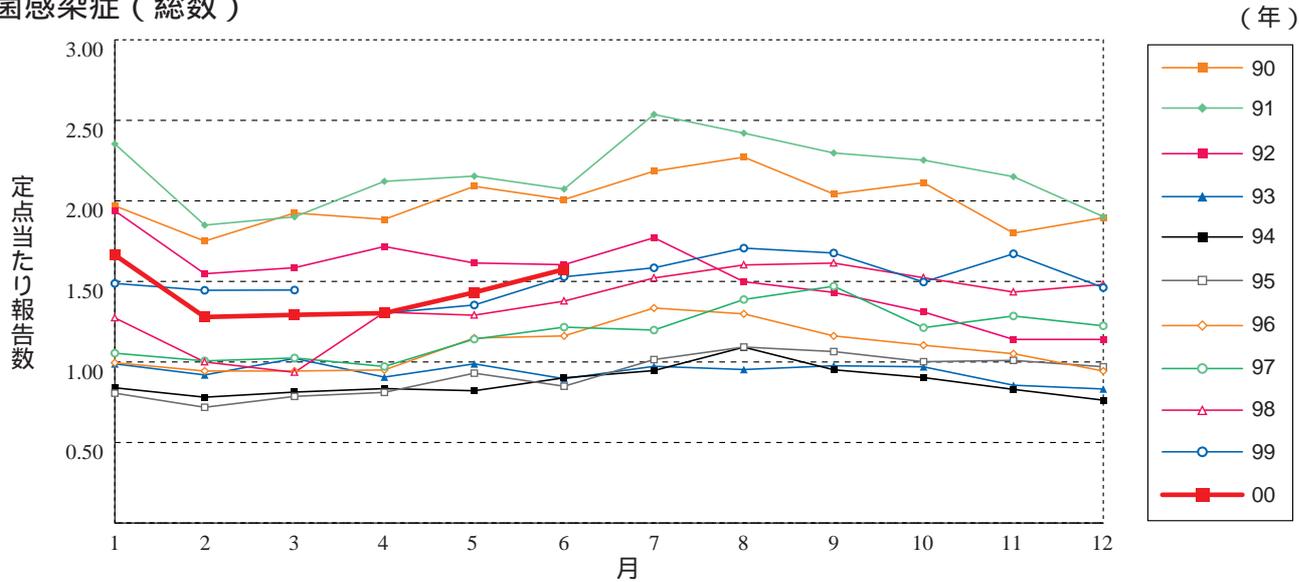
尖形コンジローム (男性)



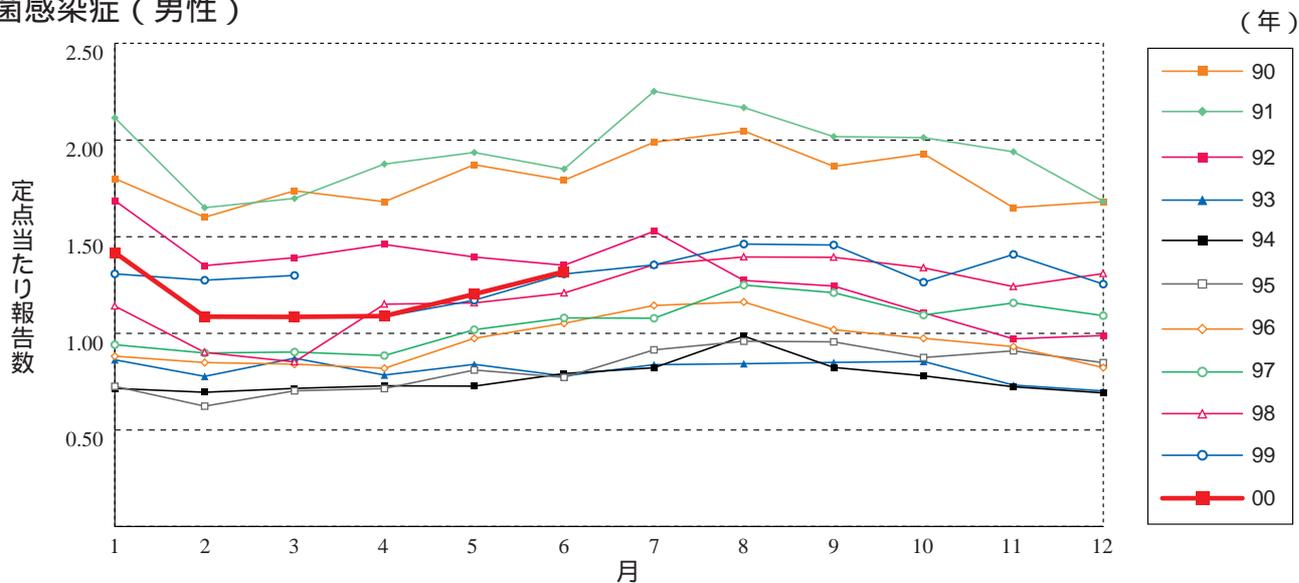
尖形コンジローム (女性)



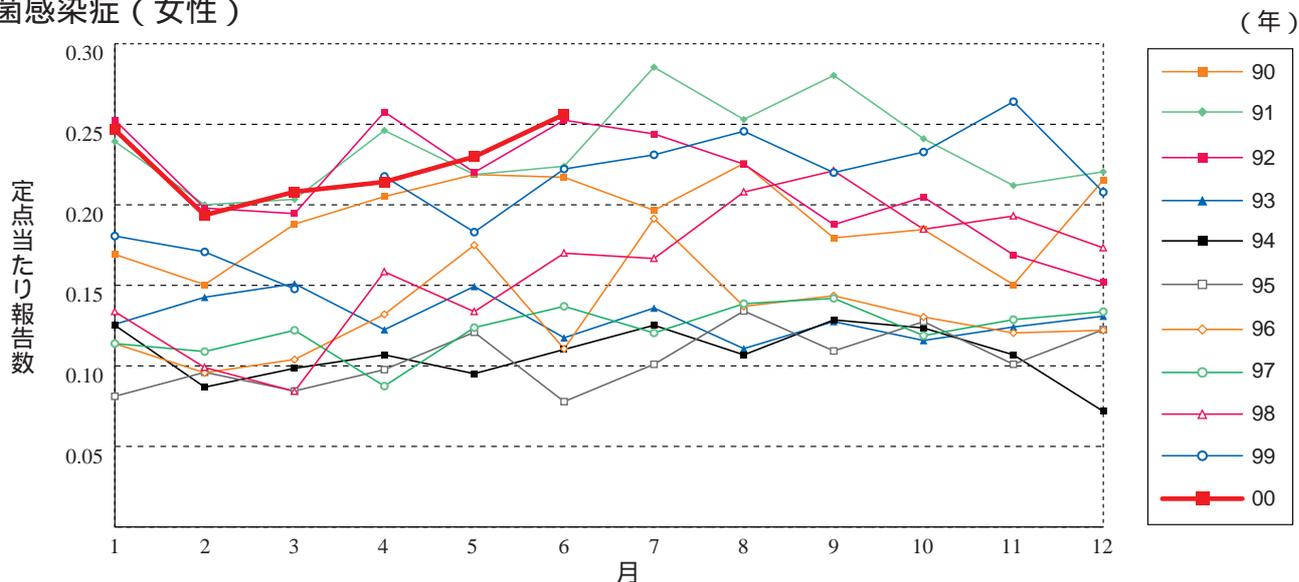
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

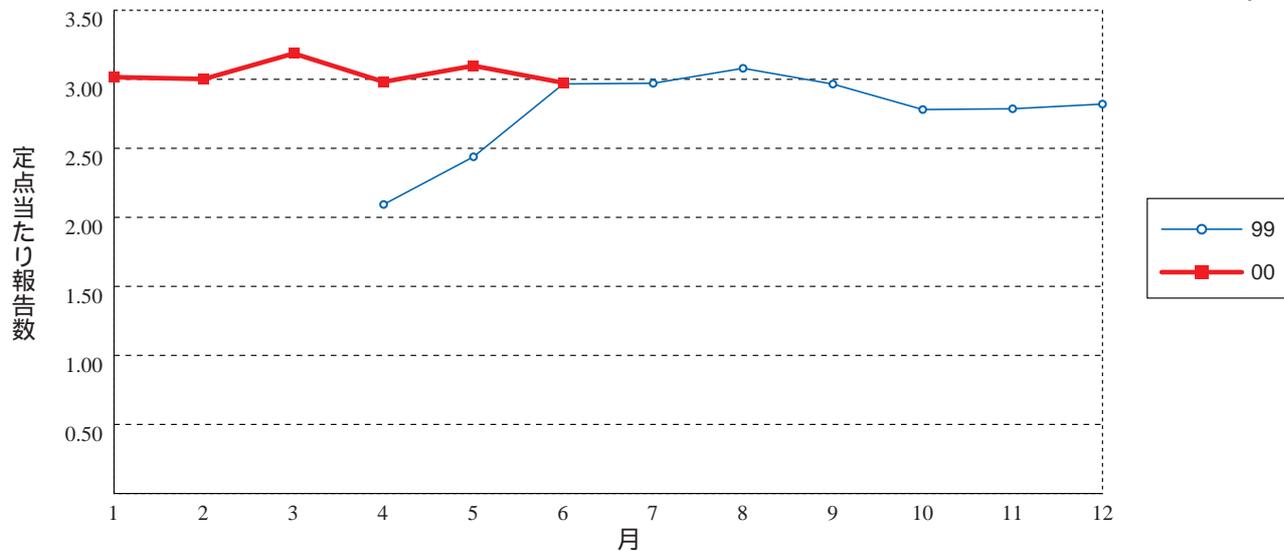


淋菌感染症 (女性)



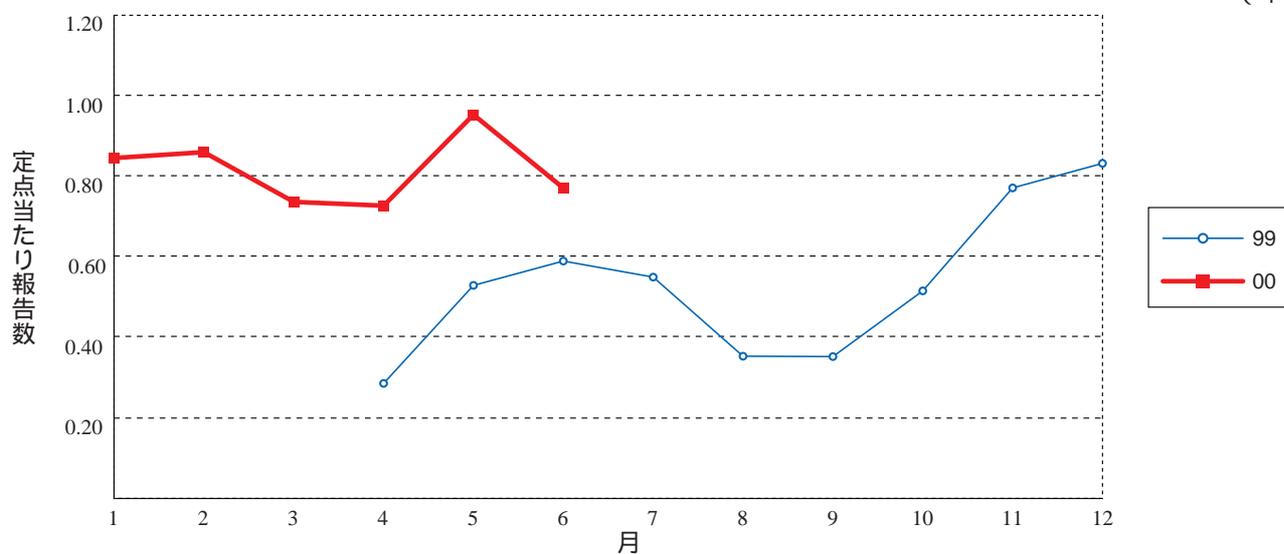
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



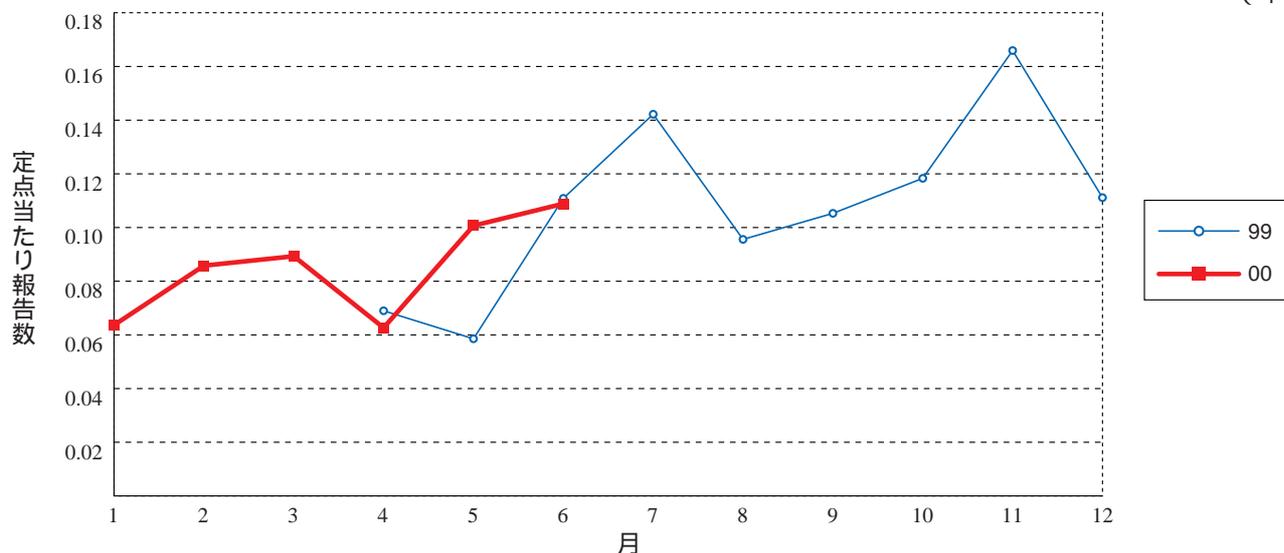
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





## 6月のデータ

注)表中の報告数は7月10日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成12年6月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3130	3.50	781	0.87	428	0.48	1408	1.57	1312	2.98	340	0.77	48	0.11
北海道	141	3.13	25	0.56	17	0.38	42	0.93	30	1.30	8	0.35	-	-
青森県	48	3.43	4	0.29	2	0.14	11	0.79	17	2.83	-	-	-	-
岩手県	26	2.00	7	0.54	2	0.15	-	-	37	1.85	1	0.05	-	-
宮城県	104	5.78	20	1.11	18	1.00	27	1.50	45	3.75	30	2.50	1	0.08
秋田県	20	1.43	4	0.29	2	0.14	1	0.07	4	0.50	10	1.25	-	-
山形県	36	3.60	3	0.30	3	0.30	8	0.80	36	4.00	13	1.44	2	0.22
福島県	27	1.69	6	0.38	11	0.69	19	1.19	7	1.17	-	-	-	-
茨城県	86	4.10	10	0.48	4	0.19	44	2.10	7	0.70	-	-	-	-
栃木県	41	2.73	7	0.47	5	0.33	14	0.93	16	2.29	-	-	-	-
群馬県	174	6.96	14	0.56	7	0.28	62	2.48	31	3.10	16	1.60	-	-
埼玉県	205	4.02	27	0.53	21	0.41	54	1.06	14	1.56	5	0.56	1	0.11
千葉県	95	2.50	30	0.79	14	0.37	26	0.68	30	3.33	52	5.78	1	0.11
東京都	264	6.44	87	2.12	55	1.34	95	2.32	120	6.32	29	1.53	14	0.74
神奈川県	144	2.40	31	0.52	19	0.32	55	0.92	22	2.00	9	0.82	1	0.09
新潟県	49	2.58	8	0.42	8	0.42	43	2.26	43	3.58	5	0.42	-	-
富山県	26	3.71	8	1.14	7	1.00	7	1.00	24	4.80	9	1.80	-	-
石川県	26	2.60	9	0.90	4	0.40	13	1.30	7	1.40	8	1.60	-	-
福井県	9	1.80	-	-	-	-	-	-	34	5.67	20	3.33	2	0.33
山梨県	18	3.00	1	0.17	1	0.17	6	1.00	16	1.60	16	1.60	-	-
長野県	54	3.60	5	0.33	10	0.67	7	0.47	20	1.82	6	0.55	-	-
岐阜県	14	0.93	8	0.53	7	0.47	12	0.80	14	2.80	-	-	-	-
静岡県	71	2.37	13	0.43	14	0.47	21	0.70	55	5.50	5	0.50	-	-
愛知県	193	3.78	47	0.92	20	0.39	140	2.75	32	2.46	1	0.08	6	0.46
三重県	28	1.87	4	0.27	2	0.13	8	0.53	69	7.67	-	-	-	-
滋賀県	10	1.25	1	0.13	2	0.25	5	0.63	33	4.71	-	-	1	0.14
京都府	58	2.64	13	0.59	6	0.27	9	0.41	2	0.40	1	0.20	-	-
大阪府	356	6.14	155	2.67	55	0.95	227	3.91	30	3.33	2	0.22	-	-
兵庫県	91	2.07	29	0.66	25	0.57	51	1.16	23	1.92	8	0.67	-	-
奈良県	23	2.56	11	1.22	5	0.56	25	2.78	17	2.83	7	1.17	-	-
和歌山県	5	0.71	7	1.00	1	0.14	12	1.71	22	2.44	6	0.67	1	0.11
鳥取県	18	3.60	-	-	-	-	2	0.40	10	2.00	-	-	-	-
島根県	15	2.50	4	0.67	3	0.50	5	0.83	53	6.63	12	1.50	-	-
岡山県	72	4.24	13	0.76	8	0.47	28	1.65	12	2.40	-	-	-	-
広島県	40	2.35	9	0.53	4	0.24	5	0.29	67	4.79	8	0.57	7	0.50
山口県	27	2.25	6	0.50	1	0.08	17	1.42	30	4.29	12	1.71	-	-
徳島県	7	1.17	4	0.67	2	0.33	1	0.17	3	0.43	-	-	-	-
香川県	22	2.44	4	0.44	5	0.56	9	1.00	27	5.40	1	0.20	-	-
愛媛県	33	3.30	7	0.70	8	0.80	21	2.10	-	-	-	-	-	-
高知県	11	1.83	1	0.17	1	0.17	6	1.00	57	8.14	19	2.71	4	0.57
福岡県	176	7.04	46	1.84	19	0.76	150	6.00	22	1.29	6	0.35	-	-
佐賀県	26	3.71	7	1.00	1	0.14	8	1.14	18	3.00	1	0.17	-	-
長崎県	1	0.10	8	0.80	-	-	6	0.60	-	-	-	-	-	-
熊本県	110	7.86	30	2.14	9	0.64	45	3.21	46	3.07	2	0.13	2	0.13
大分県	15	1.50	14	1.40	2	0.20	9	0.90	32	3.56	1	0.11	1	0.11
宮崎県	51	4.64	8	0.73	5	0.45	17	1.55	20	2.86	-	-	4	0.57
鹿児島県	41	2.56	24	1.50	7	0.44	28	1.75	17	1.42	-	-	-	-
沖縄県	23	2.09	2	0.18	6	0.55	7	0.64	41	5.86	11	1.57	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成12年6月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1439	1.61	339	0.38	230	0.26	1179	1.32	816	1.85	213	0.48	36	0.08
北海道	51	1.13	2	0.04	3	0.07	32	0.71	21	0.91	5	0.22	-	-
青森県	19	1.36	3	0.21	1	0.07	8	0.57	15	2.50	-	-	-	-
岩手県	4	0.31	-	-	-	-	-	-	20	1.00	1	0.05	-	-
宮城県	46	2.56	5	0.28	9	0.50	25	1.39	26	2.17	19	1.58	1	0.08
秋田県	3	0.21	-	-	-	-	1	0.07	4	0.50	6	0.75	-	-
山形県	13	1.30	-	-	1	0.10	7	0.70	18	2.00	8	0.89	2	0.22
福島県	12	0.75	2	0.13	4	0.25	14	0.88	5	0.83	-	-	-	-
茨城県	41	1.95	3	0.14	2	0.10	41	1.95	3	0.30	-	-	-	-
栃木県	22	1.47	-	-	1	0.07	12	0.80	12	1.71	-	-	-	-
群馬県	84	3.36	6	0.24	2	0.08	47	1.88	22	2.20	4	0.40	-	-
埼玉県	73	1.43	8	0.16	13	0.25	40	0.78	8	0.89	2	0.22	1	0.11
千葉県	49	1.29	17	0.45	7	0.18	24	0.63	25	2.78	30	3.33	1	0.11
東京都	138	3.37	46	1.12	39	0.95	82	2.00	76	4.00	20	1.05	10	0.53
神奈川県	79	1.32	9	0.15	10	0.17	53	0.88	14	1.27	7	0.64	1	0.09
新潟県	35	1.84	4	0.21	6	0.32	42	2.21	31	2.58	3	0.25	-	-
富山県	5	0.71	3	0.43	3	0.43	3	0.43	16	3.20	6	1.20	-	-
石川県	17	1.70	4	0.40	3	0.30	13	1.30	3	0.60	4	0.80	-	-
福井県	3	0.60	-	-	-	-	-	-	16	2.67	12	2.00	2	0.33
山梨県	5	0.83	-	-	-	-	6	1.00	9	0.90	15	1.50	-	-
長野県	6	0.40	1	0.07	1	0.07	4	0.27	14	1.27	3	0.27	-	-
岐阜県	9	0.60	5	0.33	6	0.40	11	0.73	7	1.40	-	-	-	-
静岡県	18	0.60	5	0.17	6	0.20	18	0.60	40	4.00	3	0.30	-	-
愛知県	125	2.45	28	0.55	16	0.31	131	2.57	20	1.54	1	0.08	4	0.31
三重県	12	0.80	2	0.13	1	0.07	8	0.53	46	5.11	-	-	-	-
滋賀県	1	0.13	-	-	-	-	5	0.63	20	2.86	-	-	1	0.14
京都府	18	0.82	2	0.09	2	0.09	8	0.36	1	0.20	1	0.20	-	-
大阪府	157	2.71	76	1.31	35	0.60	157	2.71	20	2.22	-	-	-	-
兵庫県	52	1.18	16	0.36	17	0.39	49	1.11	15	1.25	5	0.42	-	-
奈良県	21	2.33	11	1.22	5	0.56	25	2.78	12	2.00	5	0.83	-	-
和歌山県	1	0.14	4	0.57	-	-	9	1.29	10	1.11	5	0.56	1	0.11
鳥取県	9	1.80	-	-	-	-	2	0.40	8	1.60	-	-	-	-
島根県	9	1.50	1	0.17	1	0.17	5	0.83	29	3.63	8	1.00	-	-
岡山県	24	1.41	4	0.24	3	0.18	25	1.47	8	1.60	-	-	-	-
広島県	8	0.47	-	-	-	-	5	0.29	40	2.86	4	0.29	4	0.29
山口県	15	1.25	2	0.17	-	-	14	1.17	25	3.57	6	0.86	-	-
徳島県	5	0.83	2	0.33	-	-	1	0.17	2	0.29	-	-	-	-
香川県	4	0.44	3	0.33	3	0.33	7	0.78	17	3.40	1	0.20	-	-
愛媛県	13	1.30	6	0.60	8	0.80	20	2.00	-	-	-	-	-	-
高知県	5	0.83	-	-	-	-	4	0.67	23	3.29	15	2.14	3	0.43
福岡県	111	4.44	21	0.84	9	0.36	120	4.80	14	0.82	4	0.24	-	-
佐賀県	16	2.29	2	0.29	-	-	8	1.14	10	1.67	1	0.17	-	-
長崎県	1	0.10	4	0.40	-	-	5	0.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	42	3.00	16	1.14	4	0.29	34	2.43	31	2.07	1	0.07	1	0.07
大分県	13	1.30	6	0.60	2	0.20	9	0.90	18	2.00	-	-	1	0.11
宮崎県	22	2.00	1	0.09	2	0.18	15	1.36	11	1.57	-	-	3	0.43
鹿児島県	20	1.25	8	0.50	2	0.13	28	1.75	9	0.75	-	-	-	-
沖縄県	3	0.27	1	0.09	3	0.27	2	0.18	22	3.14	8	1.14	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成12年6月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1691	1.89	442	0.49	198	0.22	229	0.26	496	1.12	127	0.29	12	0.03
北海道	90	2.00	23	0.51	14	0.31	10	0.22	9	0.39	3	0.13	-	-
青森県	29	2.07	1	0.07	1	0.07	3	0.21	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	22	1.69	7	0.54	2	0.15	-	-	17	0.85	-	-	-	-
宮城県	58	3.22	15	0.83	9	0.50	2	0.11	19	1.58	11	0.92	-	-
秋田県	17	1.21	4	0.29	2	0.14	-	-	-	-	4	0.50	-	-
山形県	23	2.30	3	0.30	2	0.20	1	0.10	18	2.00	5	0.56	-	-
福島県	15	0.94	4	0.25	7	0.44	5	0.31	2	0.33	-	-	-	-
茨城県	45	2.14	7	0.33	2	0.10	3	0.14	4	0.40	-	-	-	-
栃木県	19	1.27	7	0.47	4	0.27	2	0.13	4	0.57	-	-	-	-
群馬県	90	3.60	8	0.32	5	0.20	15	0.60	9	0.90	12	1.20	-	-
埼玉県	132	2.59	19	0.37	8	0.16	14	0.27	6	0.67	3	0.33	-	-
千葉県	46	1.21	13	0.34	7	0.18	2	0.05	5	0.56	22	2.44	-	-
東京都	126	3.07	41	1.00	16	0.39	13	0.32	44	2.32	9	0.47	4	0.21
神奈川県	65	1.08	22	0.37	9	0.15	2	0.03	8	0.73	2	0.18	-	-
新潟県	14	0.74	4	0.21	2	0.11	1	0.05	12	1.00	2	0.17	-	-
富山県	21	3.00	5	0.71	4	0.57	4	0.57	8	1.60	3	0.60	-	-
石川県	9	0.90	5	0.50	1	0.10	-	-	4	0.80	4	0.80	-	-
福井県	6	1.20	-	-	-	-	-	-	18	3.00	8	1.33	-	-
山梨県	13	2.17	1	0.17	1	0.17	-	-	7	0.70	1	0.10	-	-
長野県	48	3.20	4	0.27	9	0.60	3	0.20	6	0.55	3	0.27	-	-
岐阜県	5	0.33	3	0.20	1	0.07	1	0.07	7	1.40	-	-	-	-
静岡県	53	1.77	8	0.27	8	0.27	3	0.10	15	1.50	2	0.20	-	-
愛知県	68	1.33	19	0.37	4	0.08	9	0.18	12	0.92	-	-	2	0.15
三重県	16	1.07	2	0.13	1	0.07	-	-	23	2.56	-	-	-	-
滋賀県	9	1.13	1	0.13	2	0.25	-	-	13	1.86	-	-	-	-
京都府	40	1.82	11	0.50	4	0.18	1	0.05	1	0.20	-	-	-	-
大阪府	199	3.43	79	1.36	20	0.34	70	1.21	10	1.11	2	0.22	-	-
兵庫県	39	0.89	13	0.30	8	0.18	2	0.05	8	0.67	3	0.25	-	-
奈良県	2	0.22	-	-	-	-	-	-	5	0.83	2	0.33	-	-
和歌山県	4	0.57	3	0.43	1	0.14	3	0.43	12	1.33	1	0.11	-	-
鳥取県	9	1.80	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
島根県	6	1.00	3	0.50	2	0.33	-	-	24	3.00	4	0.50	-	-
岡山県	48	2.82	9	0.53	5	0.29	3	0.18	4	0.80	-	-	-	-
広島県	32	1.88	9	0.53	4	0.24	-	-	27	1.93	4	0.29	3	0.21
山口県	12	1.00	4	0.33	1	0.08	3	0.25	5	0.71	6	0.86	-	-
徳島県	2	0.33	2	0.33	2	0.33	-	-	1	0.14	-	-	-	-
香川県	18	2.00	1	0.11	2	0.22	2	0.22	10	2.00	-	-	-	-
愛媛県	20	2.00	1	0.10	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-
高知県	6	1.00	1	0.17	1	0.17	2	0.33	34	4.86	4	0.57	1	0.14
福岡県	65	2.60	25	1.00	10	0.40	30	1.20	8	0.47	2	0.12	-	-
佐賀県	10	1.43	5	0.71	1	0.14	-	-	8	1.33	-	-	-	-
長崎県	-	-	4	0.40	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-
熊本県	68	4.86	14	1.00	5	0.36	11	0.79	15	1.00	1	0.07	1	0.07
大分県	2	0.20	8	0.80	-	-	-	-	14	1.56	1	0.11	-	-
宮崎県	29	2.64	7	0.64	3	0.27	2	0.18	9	1.29	-	-	1	0.14
鹿児島県	21	1.31	16	1.00	5	0.31	-	-	8	0.67	-	-	-	-
沖縄県	20	1.82	1	0.09	3	0.27	5	0.45	19	2.71	3	0.43	-	-



## 27週のデータ

注)表中の報告数は7月14日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年27週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	8	370	1	58	1	8		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	2	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	15	-	2	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	73	1	10	1	3	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	25	-	4	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	29	-	4	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	1	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	35	-	6	-	2	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	7	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	5	-	2	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	1	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年27週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	130	970	8	182	-	9	-	-	2	11	-	-	9	549
北海道	-	-	-	-	1	26	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	4	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	1	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
秋田県	-	-	-	-	4	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
山形県	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	5	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
埼玉県	-	-	-	-	3	27	2	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
千葉県	-	-	-	-	6	31	2	9	-	-	-	-	-	1	-	-	1	10
東京都	-	-	-	-	13	85	-	52	-	-	-	-	1	3	-	-	1	64
神奈川県	-	-	-	-	3	51	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
新潟県	-	-	-	-	2	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
石川県	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福井県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
長野県	-	-	-	-	3	9	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
静岡県	-	-	-	-	1	12	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
愛知県	-	-	-	-	3	52	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
三重県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	5	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	-	17	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21
大阪府	-	-	-	-	18	85	-	33	-	-	-	-	-	1	-	-	2	62
兵庫県	-	-	-	-	3	51	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	1	61
奈良県	-	-	-	-	1	10	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10
和歌山県	-	-	-	-	1	25	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	6	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	3	27	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19
広島県	-	-	-	-	6	37	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山口県	-	-	-	-	1	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
香川県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
愛媛県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
高知県	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福岡県	-	-	-	-	12	72	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
佐賀県	-	-	-	-	3	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大分県	-	-	-	-	4	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	1	-	-	3	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鹿児島県	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
沖縄県	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年27週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	2	1	48	-	29	4	355	-	1	2	53	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	24	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	19	-	-	-	4	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	3	-	24	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	1	6	-	2	1	136	-	1	-	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	25	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	1	12	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	9	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	21	-	-	-	7	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	7	-	-	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年27週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	1	-	-	5	197	1	6	-	9	-	-	-	-	5	383
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	11
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-	-	-	-	11
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	1	57
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	22
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年27週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	38	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	92	-	5	2	82
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	3
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
千葉県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
東京都	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	1
兵庫県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年27週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	70	0.02	900	0.30	3370	1.13	8047	2.69	4999	1.67	16742	5.59	1115	0.37	2778	0.93	97	0.03
北海道	-	-	24	0.17	166	1.14	325	2.24	318	2.19	484	3.34	82	0.57	138	0.95	-	-
青森県	2	0.03	14	0.34	20	0.49	65	1.59	95	2.32	27	0.66	16	0.39	21	0.51	1	0.02
岩手県	2	0.03	4	0.11	27	0.71	36	0.95	57	1.50	11	0.29	31	0.82	28	0.74	1	0.03
宮城県	3	0.03	3	0.05	85	1.44	234	3.97	115	1.95	49	0.83	40	0.68	80	1.36	5	0.08
秋田県	2	0.04	1	0.03	43	1.23	125	3.57	40	1.14	11	0.31	5	0.14	26	0.74	-	-
山形県	3	0.07	4	0.14	61	2.10	102	3.52	79	2.72	375	12.93	41	1.41	34	1.17	1	0.03
福島県	-	-	16	0.33	37	0.77	124	2.58	110	2.29	32	0.67	16	0.33	42	0.88	1	0.02
茨城県	1	0.01	4	0.06	86	1.19	234	3.25	99	1.38	248	3.44	20	0.28	40	0.56	2	0.03
栃木県	-	-	6	0.13	70	1.56	79	1.76	52	1.16	371	8.24	4	0.09	35	0.78	-	-
群馬県	-	-	4	0.06	87	1.40	145	2.34	122	1.97	1105	17.82	10	0.16	52	0.84	3	0.05
埼玉県	4	0.02	55	0.34	234	1.46	499	3.12	258	1.61	1530	9.56	88	0.55	137	0.86	2	0.01
千葉県	1	0.00	37	0.28	205	1.54	298	2.24	251	1.89	555	4.17	91	0.68	121	0.91	5	0.04
東京都	-	-	23	0.16	73	0.51	289	2.04	118	0.83	488	3.44	62	0.44	63	0.44	-	-
神奈川県	23	0.07	54	0.26	198	0.97	407	1.99	341	1.66	1315	6.41	150	0.73	231	1.13	4	0.02
新潟県	-	-	4	0.07	122	2.03	121	2.02	156	2.60	212	3.53	31	0.52	67	1.12	1	0.02
富山県	-	-	3	0.10	36	1.24	97	3.34	31	1.07	27	0.93	2	0.07	28	0.97	1	0.03
石川県	-	-	5	0.17	28	0.97	118	4.07	50	1.72	32	1.10	5	0.17	28	0.97	-	-
福井県	-	-	-	-	55	2.50	106	4.82	41	1.86	19	0.86	2	0.09	25	1.14	1	0.05
山梨県	6	0.15	1	0.04	24	0.96	41	1.64	50	2.00	8	0.32	4	0.16	8	0.32	-	-
長野県	-	-	18	0.35	95	1.86	162	3.18	139	2.73	118	2.31	38	0.75	51	1.00	2	0.04
岐阜県	-	-	18	0.34	79	1.49	79	1.49	96	1.81	29	0.55	6	0.11	42	0.79	2	0.04
静岡県	1	0.01	53	0.62	102	1.19	347	4.03	160	1.86	392	4.56	27	0.31	102	1.19	1	0.01
愛知県	-	-	31	0.17	207	1.14	452	2.48	257	1.41	230	1.26	89	0.49	164	0.90	6	0.03
三重県	-	-	8	0.18	60	1.33	212	4.71	60	1.33	331	7.36	25	0.56	52	1.16	1	0.02
滋賀県	3	0.07	7	0.23	37	1.19	47	1.52	45	1.45	102	3.29	-	-	20	0.65	2	0.06
京都府	-	-	5	0.07	57	0.75	229	3.01	122	1.61	263	3.46	10	0.13	50	0.66	-	-
大阪府	3	0.01	82	0.43	184	0.97	424	2.24	314	1.66	1647	8.71	18	0.10	166	0.88	10	0.05
兵庫県	1	0.01	70	0.55	145	1.13	491	3.84	239	1.87	1186	9.27	32	0.25	140	1.09	6	0.05
奈良県	-	-	3	0.09	31	0.89	86	2.46	53	1.51	730	20.86	2	0.06	27	0.77	1	0.03
和歌山県	-	-	55	1.77	14	0.45	55	1.77	78	2.52	618	19.94	2	0.06	40	1.29	2	0.06
鳥取県	-	-	2	0.11	103	5.42	103	5.42	35	1.84	66	3.47	3	0.16	23	1.21	1	0.05
島根県	-	-	1	0.04	4	0.17	77	3.35	15	0.65	8	0.35	3	0.13	16	0.70	2	0.09
岡山県	1	0.01	30	0.56	59	1.09	128	2.37	56	1.04	91	1.69	15	0.28	45	0.83	1	0.02
広島県	-	-	57	0.76	52	0.69	191	2.55	123	1.64	236	3.15	15	0.20	89	1.19	7	0.09
山口県	-	-	20	0.41	55	1.12	134	2.73	117	2.39	174	3.55	10	0.20	55	1.12	1	0.02
徳島県	-	-	11	0.48	11	0.48	64	2.78	37	1.61	111	4.83	-	-	27	1.17	-	-
香川県	-	-	19	0.59	37	1.16	61	1.91	36	1.13	157	4.91	7	0.22	28	0.88	-	-
愛媛県	-	-	51	1.31	40	1.03	148	3.79	70	1.79	306	7.85	1	0.03	43	1.10	-	-
高知県	-	-	9	0.29	20	0.65	56	1.81	32	1.03	35	1.13	2	0.06	25	0.81	1	0.03
福岡県	-	-	20	0.25	62	0.78	284	3.59	101	1.28	706	8.94	31	0.39	62	0.78	3	0.04
佐賀県	-	-	3	0.13	21	0.91	52	2.26	44	1.91	477	20.74	13	0.57	43	1.87	1	0.04
長崎県	2	0.03	2	0.05	20	0.45	48	1.09	58	1.32	293	6.66	6	0.14	22	0.50	2	0.05
熊本県	-	-	11	0.22	40	0.82	93	1.90	102	2.08	424	8.65	23	0.47	59	1.20	4	0.08
大分県	-	-	16	0.44	46	1.28	196	5.44	87	2.42	262	7.28	24	0.67	57	1.58	3	0.08
宮崎県	1	0.02	22	0.59	58	1.57	156	4.22	38	1.03	142	3.84	9	0.24	49	1.32	5	0.14
鹿児島県	11	0.11	8	0.13	44	0.73	200	3.33	70	1.17	687	11.45	3	0.05	55	0.92	4	0.07
沖縄県	-	-	6	0.18	30	0.88	27	0.79	32	0.94	22	0.65	1	0.03	22	0.65	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年27週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	96	0.03	17097	5.71	583	0.19	3052	1.02	50	0.08	980	1.56	1	0.00	5	0.01	88	0.19
北海道	-	-	273	1.88	35	0.24	162	1.12	-	-	24	0.83	-	-	-	-	-	-
青森県	3	0.07	162	3.95	3	0.07	58	1.41	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	157	4.13	4	0.11	23	0.61	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	756	12.81	3	0.05	18	0.31	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
秋田県	2	0.06	125	3.57	2	0.06	11	0.31	-	-	11	1.57	-	-	-	-	2	0.25
山形県	-	-	26	0.90	-	-	12	0.41	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	457	9.52	-	-	16	0.33	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
茨城県	6	0.08	387	5.38	10	0.14	38	0.53	8	0.50	52	3.25	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	205	4.56	10	0.22	18	0.40	1	0.08	27	2.25	-	-	1	0.17	2	0.33
群馬県	2	0.03	813	13.11	1	0.02	160	2.58	1	0.07	23	1.64	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	4	0.03	1718	10.74	36	0.23	227	1.42	-	-	72	2.00	-	-	-	-	-	-
千葉県	6	0.05	2188	16.45	27	0.20	206	1.55	2	0.06	57	1.68	-	-	1	0.08	-	-
東京都	12	0.08	889	6.26	29	0.20	104	0.73	1	0.07	30	2.14	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	10	0.05	1780	8.68	19	0.09	281	1.37	2	0.05	120	2.86	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	-	-	605	10.08	1	0.02	64	1.07	-	-	3	0.33	-	-	-	-	6	0.46
富山県	-	-	54	1.86	2	0.07	11	0.38	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	2	0.07	57	1.97	3	0.10	1	0.03	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	74	3.36	8	0.36	10	0.45	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	46	1.84	9	0.36	2	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	252	4.94	1	0.02	27	0.53	-	-	16	1.60	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	6	0.11	392	7.40	28	0.53	35	0.66	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	579	6.73	4	0.05	189	2.20	1	0.05	27	1.29	-	-	-	-	3	0.33
愛知県	1	0.01	1246	6.85	15	0.08	208	1.14	-	-	47	1.34	-	-	-	-	2	0.15
三重県	2	0.04	160	3.56	14	0.31	69	1.53	-	-	31	2.58	-	-	-	-	8	0.89
滋賀県	2	0.06	37	1.19	12	0.39	21	0.68	3	0.43	-	-	-	-	-	-	3	0.43
京都府	-	-	99	1.30	5	0.07	23	0.30	1	0.06	20	1.11	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	7	0.04	418	2.21	132	0.70	164	0.87	5	0.10	56	1.08	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	628	4.91	20	0.16	158	1.23	-	-	46	1.31	-	-	-	-	4	0.29
奈良県	-	-	31	0.89	23	0.66	24	0.69	10	1.11	17	1.89	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	20	0.65	16	0.52	10	0.32	-	-	5	1.25	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	178	9.37	1	0.05	17	0.89	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	20	0.87	1	0.04	19	0.83	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	7	0.13	227	4.20	23	0.43	31	0.57	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
広島県	6	0.08	355	4.73	14	0.19	87	1.16	-	-	27	1.35	-	-	1	0.05	3	0.14
山口県	-	-	280	5.71	-	-	123	2.51	-	-	16	1.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	21	0.91	3	0.13	5	0.22	-	-	15	3.75	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	139	4.34	14	0.44	37	1.16	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	200	5.13	4	0.10	26	0.67	-	-	21	3.00	-	-	-	-	9	1.50
高知県	-	-	132	4.26	9	0.29	30	0.97	-	-	12	4.00	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	1	0.01	231	2.92	25	0.32	65	0.82	11	0.61	25	1.39	-	-	-	-	4	0.27
佐賀県	-	-	91	3.96	2	0.09	47	2.04	-	-	2	0.50	-	-	-	-	4	0.67
長崎県	1	0.02	81	1.84	2	0.05	15	0.34	4	0.50	13	1.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	5	0.10	203	4.14	1	0.02	109	2.22	-	-	13	1.44	-	-	-	-	16	1.07
大分県	1	0.03	132	3.67	7	0.19	14	0.39	-	-	6	1.20	-	-	-	-	2	0.22
宮崎県	5	0.14	81	2.19	4	0.11	46	1.24	-	-	5	1.25	-	-	-	-	4	0.57
鹿児島県	-	-	83	1.38	1	0.02	20	0.33	-	-	5	1.00	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	1	0.03	9	0.26	-	-	11	0.32	-	-	43	4.30	1	0.14	-	-	3	0.43

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年27週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	39	0.08	4	0.01	17	0.04
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	12	1.00	1	0.08	-	-
秋田県	3	0.38	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	0.17
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.22	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	3	0.21	-	-	2	0.14
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	1	0.20	-	-
広島県	3	0.14	1	0.05	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	-	-	1	0.20
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	1	0.11	-	-	2	0.22
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第27号 平成12年7月24日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生省保健医療局結核感染症課  
 厚生省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 TEL：03-5285-1111  
 FAX：03-5285-1129  
 URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
 http://www.mhw.go.jp/  
 <厚生省>  
 http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/  
 <成田空港検疫所>  
 http://www.forth.go.jp/  
 <旅行者のための海外感染症情報>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。